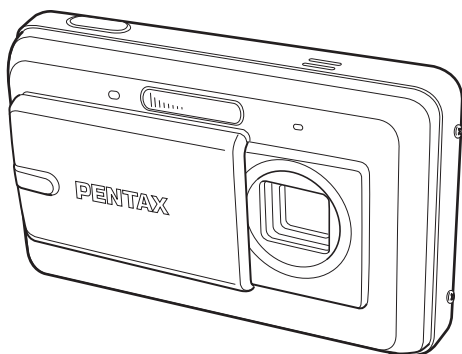
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio Z10

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptioZ10をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。
本説明書ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

警告

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止してバッテリーを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- 発熱、発火、破裂の恐れがありますので、バッテリーの分解、ショート、火の中に入れたり、高温場所（60℃以上）に放置しないでください。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI72 以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こした時は、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

⚠ 警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリー D-LI72 以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水ではありませんので、雨水などが直接かかるところでは使用できません。
- 破損や故障、また防水性能が損なわれる原因となりますので、強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.28）をご覧ください。

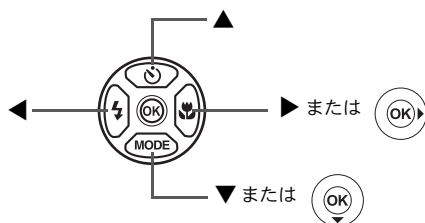
- SD メモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC72専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

目次

画像の再生と消去 115

画像の編集と印刷 133

音声の録音と再生 156

本書では、十字キーの操作を次のように表記しています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
📷モード	静止画と動画の撮影、音声の録音をするモードです。本書では、静止画を撮影するモードを「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードを「🎥モード」、音声を録音するモードを「🎙モード」と表記します。
▶モード	静止画と動画、音声を再生するモードです。

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 画像の再生と消去

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

6 画像の編集と印刷

撮影した静止画を印刷するためのさまざまな方法や、カメラで編集する方法について説明しています。撮影した画像のパソコンへの保存方法とACDSee for PENTAXのインストール方法に関しては別紙の「PC接続ガイド」を、パソコンでの画像の加工や印刷方法に関してはACDSee for PENTAXのヘルプをご覧ください。

7 音声の録音と再生

音声の録音や静止画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

8 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

9 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

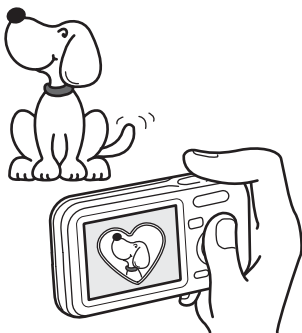
このカメラの楽しみ方

Optio Z10では、一般的な写真撮影のほか、いろいろなシーンに応じたバリエーションに富んだ撮影方法をお楽しみいただけます。ここでは、Optio Z10の特長的な楽しみ方をご紹介しましょう。操作説明のページもあわせてご覧いただき、ぜひOptio Z10の楽しさを味わってみてください。

動画撮影の機能が充実！

Optio Z10では、手ぶれ補正機能を使って動画撮影時のぶれを補正することができます。（p.112）また、動画を撮影中に写真を撮ることができます。（p.107）

- **運動会で、躍動感あふれる動画撮影に。走っている姿は動画に、ゴールインの瞬間は写真に。**

かわいいフレームと合成して撮れる！

Opito Z10では、子供やペットの写真を撮るときにかわいいフレームを合成することができます。（p.67）撮影した写真に後からフレームを合成するのも、もちろんOK！フレームの形や大きさに合わせて被写体の位置を微調整したり、写真を縮小・拡大して合成することもできます。フレームと被写体のバランスが微妙に合わない・・・なんていうことはありません。（p.142）

- **フレームを使った記念写真に。**

撮影も再生も、カメラがナビゲートしてくれる！

Optio Z10は、少ないボタンで操作ができるカンタン設計。いろいろな撮影シーンで最適な設定を選べる「撮影モード」(p.53）も、再生・編集を楽しむための「再生モード」(p.115、p.133）も、わかりやすいアイコンを選ぶだけでOK。各モードの機能や使い方も、液晶モニターに表示されるガイドで確認できる親切設計です。(p.53、p.60）

- **モードパレット表示時にモードを選ぶと、ガイドを表示。(p.53、p.60）**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。(p.64）**

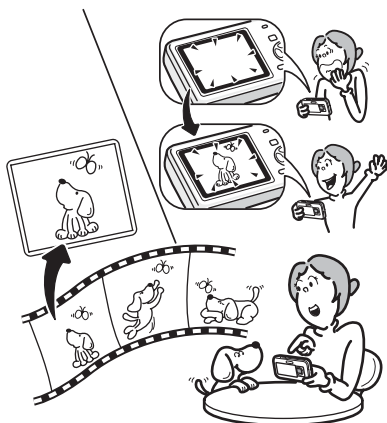
カレンダー形式で表示できる！

Optio Z10では、撮影した画像や録音した音声を日付ごとにカレンダー形式で表示できます。(p.117）再生したい写真や音声を、すばやく見つけることができます。

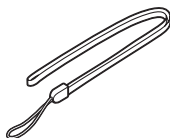
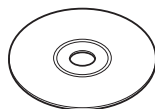
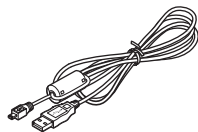
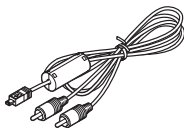
いつでも身近に持ち歩ける！

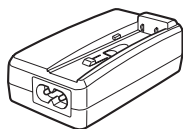
Optio Z10はスポーティでシャープなデザイン。携帯性もバツグンだから、カバンのポケットに入れたり首から下げたり、携帯電話のような感覚でいつでも身近に持ち歩けます。また、ちょっと時間を知りたいときに役立つ「スタイルウォッチ」機能を装備。（p.180）

パソコンがなくても楽しめる、再生・編集機能も充実！

Optio Z10では、パソコンに接続し画像の転送を行わなくても画像の再生や編集が楽しめる機能が充実。パソコンを起動するのが面倒だな、というときなどでも、これ一台で撮影から画像加工、動画の編集まで楽しんでいただけます。（p.133）また、うっかり画像を削除してしまったとき、復活が可能なのも、Optio Z10ならでは。（p.130）

- **カメラでの画像再生時に、リサイズ（p.133）、トリミング（p.135）、赤目補正（p.141）が可能。**
- **動画の分割・結合、動画から静止画を取り出すといった動画編集が可能。（p.144）**

主な同梱品の確認

本体
Optio Z10

ストラップ
O-ST20（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW70

USBケーブル
I-USB7（※）

AVケーブル
I-AVC7（※）

充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI72（※）

バッテリー充電器
D-BC72（※）

ACコード（※）

PC接続ガイド

使用説明書
（本書）

簡単ガイド

保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
（バッテリー充電器とACコードはセット(バッテリー充電器キット K-BC72J)でのみの販売となります。）
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.188）をご覧ください。

各部の名称

前面

シャッターボタン
セルフタイマーランプ
スピーカー
マイク
PENTAX
レンズ
ストロボ
レンズカバー／電源スイッチ

背面

液晶モニター
電源ランプ
三脚ネジ穴
DC入力端子
PC/AV端子
端子カバー
端子カバー
カードカバー
バッテリーカバー

操作部の名称

レンズカバー／電源スイッチ

シャッターボタン

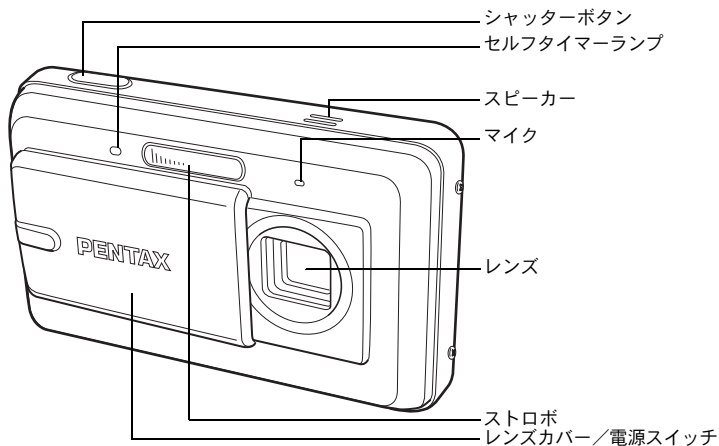
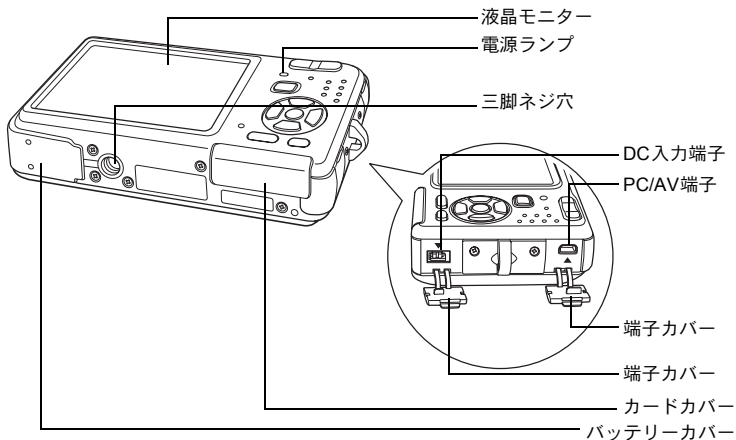
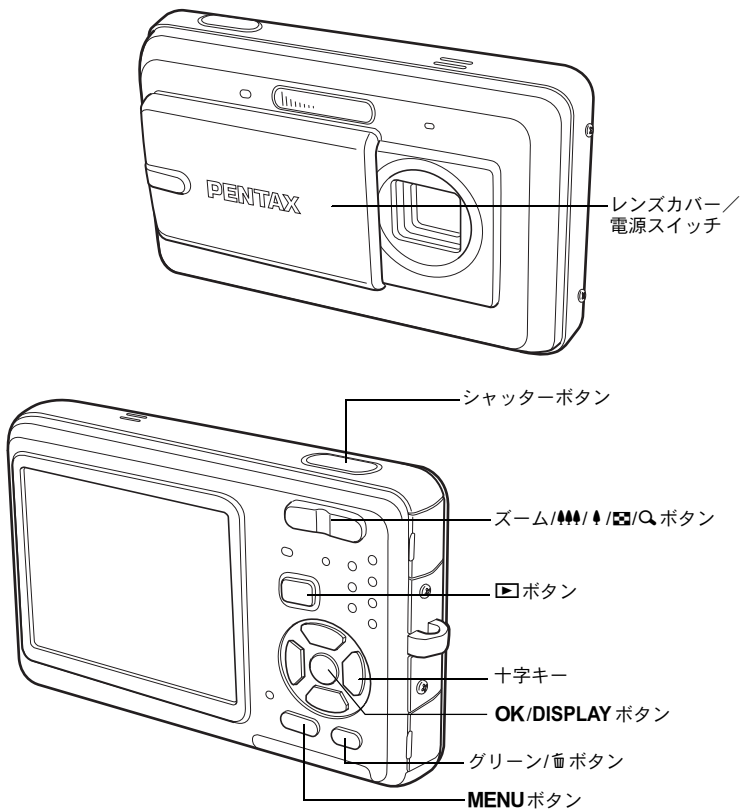
ズーム/♣♣♣/♣/⊞/🔍ボタン

▶ボタン

十字キー

OK/**DISPLAY**ボタン

グリーン/🗑ボタン

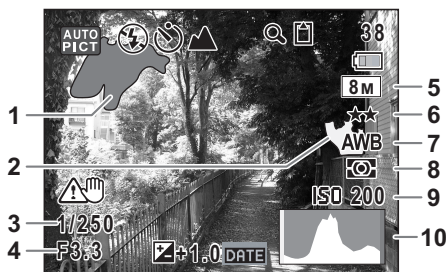
MENUボタン

各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」（p.43～p.47）をご覧ください。

画面の表示

静止画撮影モード 通常表示
撮影条件などを表示します。

1 撮影モード（p.53）
2 ストロボモード（p.86）
3 ドライブモード（p.73、p.74）
4 フォーカスモード（p.84）
5 手ぶれ警告表示（p.82）
6 デジタルズーム表示およびインテリジェントズーム表示（p.75）
7 メモリー状態表示（p.32）
- ：内蔵メモリー（カードなし）
- ：SDメモリーカード
- ：カードロック状態

8 撮影可能枚数
9 バッテリー残量表示（p.24）
10 フォーカスフレーム（p.39）
11 露出補正値（p.81）
12 現在の日時（p.36）
13 ワールドタイム設定中（p.168）
14 日付写し込み警告（p.103）

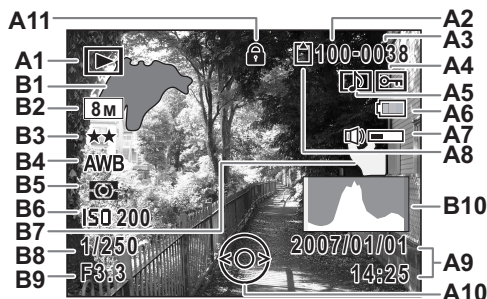
静止画撮影モード ヒストグラム＋情報表示

1 白とび（赤で点滅）
2 黒つぶれ（黄色で点滅）
3 シャッター速度
4 絞り値
5 記録サイズ（p.88）
6 画質（p.90）
7 ホワイトバランス（p.91）
8 測光方式（p.93）
9 ISO感度（p.95）
10 ヒストグラム（p.83）

「白とび」「黒つぶれ」表示について

被写体の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。

静止画再生モード フル表示

（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

撮影条件などを表示します。A1～A11は「通常表示」、「ヒストグラム＋情報」表示のいずれの場合も表示されます。B1～B10は「ヒストグラム＋情報」表示のときにのみ表示されます。（p.119）

A1 再生モード表示
▶：静止画像（p.60）
手ぶれ補正可能（p.120）
A2 フォルダ番号（p.171）
A3 ファイル番号
A4 画像プロテクト表示（p.131）
A5 ボイスメモ表示（p.160）
A6 バッテリー残量表示（p.24）
A7 音量表示（p.160）
A8 メモリー状態表示（p.32）
：内蔵メモリー（カードなし）
：SDメモリーカード
：カードロック状態
A9 撮影日時（p.36）
A10 十字キーガイド表示
A11 キーロック表示（p.65）
B1 白とび（赤で点滅）（p.19）
B2 記録サイズ（p.88）
B3 画質（p.90）
B4 ホワイトバランス（p.91）
B5 測光方式（p.93）
B6 ISO感度（p.95）
B7 黒つぶれ（黄色で点滅）（p.19）
B8 シャッター速度
B9 絞り値
B10 ヒストグラム（p.83）

通常表示時にボタン操作を2秒間何も行わないと、A6、A9の表示は消えます。

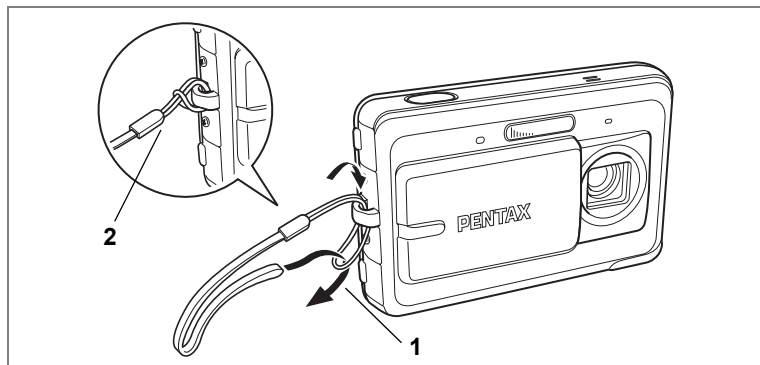
ガイド表示について

操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

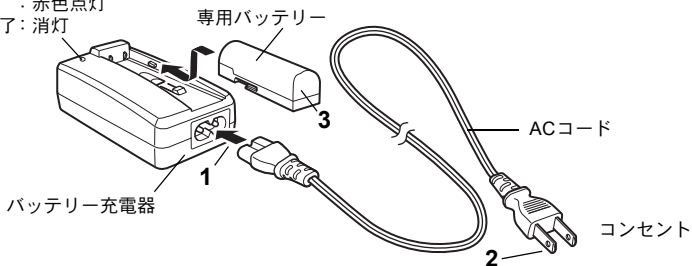
十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

ズームボタン	🔍
OK/**DISPLAY**ボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER
グリーン/🗑ボタン	● 、🗑

ストラップを取り付ける

付属のストラップ（O-ST20）を取り付けます。

1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップ端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備する

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器D-BC72にACコードを接続する

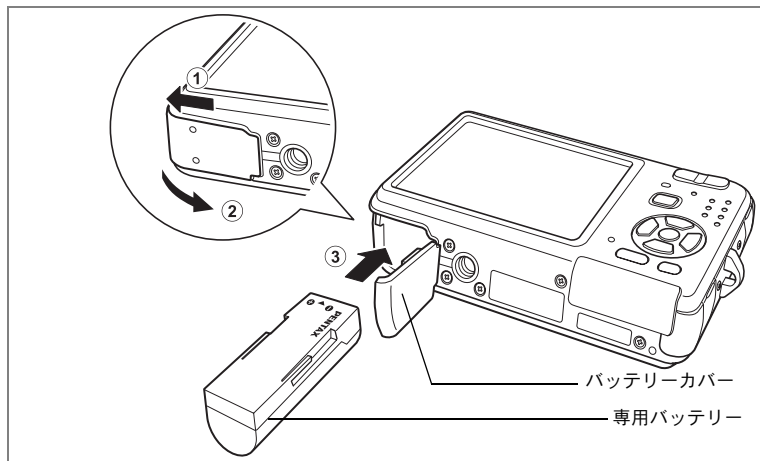
2　ACコードをコンセントに差し込む

3　専用バッテリーをPENTAXロゴ面を下にしてセットする

充電中はインジケーターランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、インジケーターランプが消灯します。

4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す

- 充電時間は、最大で約90分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。（周囲の温度や充電状態によって異なります。）
- 正しく充電しても使用できる時間が短くなったらバッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

- 付属のバッテリー充電器では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI72以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーをセットする

専用バッテリーをセットします。はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットしてください。

1　バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーをスライドして手を離すと、バネで自動的に開きます。

2　バッテリーのPENTAXロゴが見える面をカメラの液晶モニター側に向け、挿入する

3　バッテリーカバーを閉じる

バッテリーを取り出す

1　バッテリーカバーを開ける

2　バッテリーを引き抜く

- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI72 が、このカメラの専用バッテリーです。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し作動しなくなることがあります。
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると故障の原因になります。
- 電源がオンのときはバッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合はバッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。

- **静止画撮影可能枚数と動画撮影、音声録音、再生時間の目安**
  （23℃・液晶モニター点灯・専用バッテリーフル充電時）

静止画撮影可能枚数※1（ストロボ使用率50%）	動画撮影時間※2	音声録音時間※2	再生時間※2
180枚	65分	190分	150分

※1：撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下することがあります。
- 海外旅行など長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

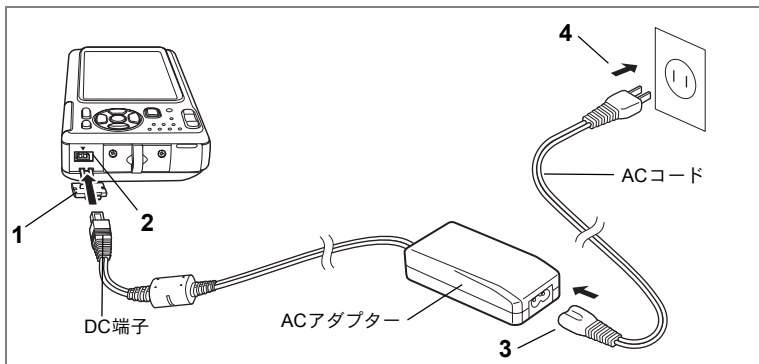
- **バッテリーの残量表示**

液晶モニターに表示された で、バッテリーの残量を確認できます。

画面表示	バッテリーの状態
（緑）	バッテリーがまだ十分に残っています。
（緑）	少し減っています。
（黄）	だいぶ減っています。
（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

● **リサイクルについて**

Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ACアダプターを使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC63J（別売）のご使用をおすすめします。

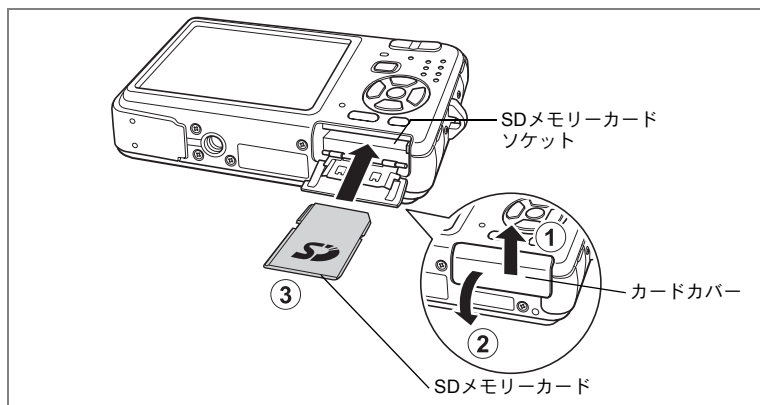
1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2 ACアダプターのDC端子の▲マークとカメラのDC端子の▲マークを合わせて接続する。

3 ACコードをACアダプターに接続する

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- ACアダプターの接続やとり外しは、必ずレンズカバーを閉め（電源が切れた状態）で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。SD メモリーカードまたは内蔵メモリーにデータを記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
  ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC63Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプターを接続しても、カメラ内のバッテリーを充電することはできません。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカードをご使用いただけます。撮影した画像や録音した音声はカメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。(p.32)

- **未使用または他のカメラやデジタル機器で使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット（初期化）してからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」(p.161) をご覧ください。**
- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ずレンズカバーを閉め（電源が切れた状態）でおこなってください。

- 撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(p.29)
- SDメモリーカードにアクセス中（データの記録や読み出し中）は、電源ランプが点滅します。

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

1　カードカバーを開ける

カードカバーをスライドして手を離すと、バネで自動的に開きます。

2　SD メモリーカードのラベル面をカメラの液晶モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードは奥までしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3　カードカバーを閉じる

②と逆方向にカードカバーを閉じて、①と逆に方向にずらしてカードカバーをとめます。

SDメモリーカードを取り出す

1　カードカバーを開ける

2　SDメモリーカードを中に押し込む

SDメモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニターでは🔒と表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

静止画の記録サイズと画質

撮影する静止画の「記録サイズ」（横×縦の大きさ）と「画質」（画像記録時のデータ圧縮率）は、撮影後の画像の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」や「画質」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になります。ただし、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数（カメラの内蔵メモリーやSDメモリーカードに記録できる枚数）は少なくなります。
なお、撮影した写真や印刷した写真の美しさ、鮮明さには、画質設定や露出補正などの撮影時設定、あるいは使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、記録サイズをむやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。下の表を参考に、用途に応じて適切な「記録サイズ」と「画質」を設定してください。

● 選べる記録サイズと適した用途

<table>
<tr><th>記録サイズ</th><th colspan="2">用途</th></tr>
<tr><td>8M 3264×2448</td><td rowspan="7">↑ 鮮明、きれい</td><td>フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など</td></tr>
<tr><td>5M 2592×1944</td><td></td></tr>
<tr><td>4M 2304×1728</td><td></td></tr>
<tr><td>3M 2048×1536</td><td></td></tr>
<tr><td>2M 1600×1200</td><td>はがきサイズプリントなど</td></tr>
<tr><td>1024 1024× 768</td><td></td></tr>
<tr><td>640 640× 480</td><td>ホームページ掲載、電子メール添付など</td></tr>
</table>

初期設定では、8M （3264×2448）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

初期設定では、★★（ファイン）が選択されています。

静止画の「記録サイズ」と「画質」の設定は、「📷撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する ☞p.88

画質を選択する ☞p.90

● **記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安**

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB
8M 3264×2448	13枚	62枚	26枚	121枚	40枚	186枚
5M 2592×1944	21枚	97枚	40枚	186枚	58枚	267枚
4M 2304×1728	26枚	121枚	52枚	242枚	75枚	346枚
3M 2048×1536	33枚	151枚	65枚	299枚	95枚	435枚
2M 1600×1200	52枚	242枚	87枚	401枚	128枚	586枚
1024 1024× 768	104枚	476枚	175枚	802枚	222枚	1016枚
640 640× 480	208枚	953枚	303枚	1386枚	416枚	1906枚

- この表の数値は、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート

撮影する動画の「記録サイズ」、「画質」、「フレームレート」（1秒間に撮る画面数）は、動画の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」や「画質」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えます。
「フレームレート」を大きい値に設定するほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。
動画の「記録サイズ」、「画質」、「フレームレート」の設定は、「📷撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する ☞p.108

動画の画質を選択する ☞p.109

フレームレートを選択する ☞p.110

● **選べる記録サイズと適した用途**

640 （640×480）	テレビやパソコンの画面で動画を見るときに適しています。

320 (320×240)	電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

初期設定では、640（640×480）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	↑ 鮮明な画像になります。
★★	ファイン	
★	エコノミー	↓ 粗い画像になります。

初期設定では、★★★（S.ファイン）が選択されています。

● 選べるフレームレートと適した用途

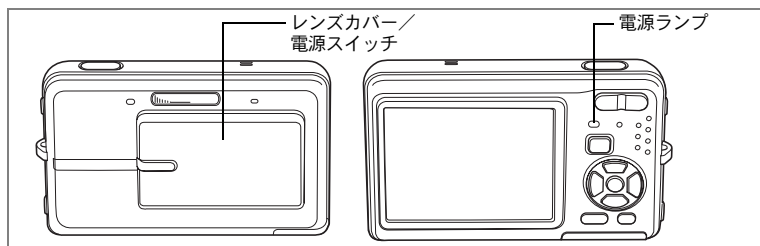
30fps	動きの滑らかな動画で記録されます。記録時間は短くなります。
15fps	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

初期設定では、30fps（フレーム／秒）が選択されています。

● 記録サイズ／画質／フレームレートと撮影可能時間の目安

		30fps		15fps		音声	
		内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB
640 640×480	★★★	49秒	3分47秒	1分38秒	7分28秒	41分17秒	3時間8分53秒
	★★	1分6秒	5分5秒	2分13秒	10分10秒		
	★	1分41秒	7分42秒	3分16秒	14分57秒		
320 320×240	★★★	1分19秒	6分3秒	2分31秒	11分33秒		
	★★	1分47秒	8分12秒	3分28秒	15分53秒		
	★	2分31秒	11分33秒	5分3秒	23分6秒		

- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。
- 動画は連続で内蔵メモリー/SDメモリーカードの容量いっぱい、または大容量のSDHCカードを使用した場合は、最大で2GBまで撮影可能です。2GB撮影終了後に、再度撮影をし直すことで、引き続き2GBずつ、残りの容量を撮影することができます。

電源をオン／オフする

1 レンズカバーを開ける

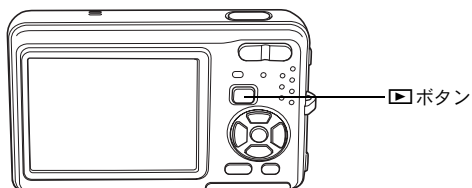
電源がオンになり、電源ランプが点灯します。
カメラの電源を入れたときに、「初期設定」の画面が表示された場合は、p.34の手順にしたがって設定を行ってください。

2 レンズカバーを閉じる

電源がオフになり、電源ランプが消灯します。

撮影する ☞p.62

カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニターに📷が表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、🗋のかわりに🔒が表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。

再生起動モード

再生起動モードは、撮影はせずに、すぐに画像や音声を再生したいときに使用します。

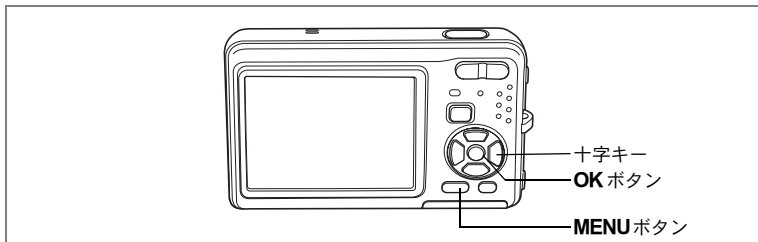
1　▶ボタンを2秒間長押しする

液晶モニターが点灯し、再生モードで起動します。

再生起動モードから📷モードへ切り替えるには、レンズカバーを開けてください。

静止画を再生する ☞p.41

初期設定をする

ご購入後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

カメラの電源を入れたときに、「Language/言語」の画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」（p.36）の手順で日時を現在の日時に設定してください。

設定した「言語」と「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.170）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.162）

言語を設定する

1　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

2 OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」が東京、「夏時間」が DST OFF に設定されていたら、もう一度**OK**ボタンを押して「日時設定」の画面を表示させます。引き続き、「日時を設定する」（p.36）に進んでください。
それ以外の設定になっていたら、手順3「現在地、夏時間の設定をする」に進んでください。

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の操作で、まず日本語の表示に設定し直してください。

●「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んでOKボタンを押してしまった！

1 十字キー(▶)を押す

2 十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選んで、OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。

● 手順2で外国語の設定のまま次の画面を表示させてしまった！

1 OKボタンを押す

2 MENUボタンを押す

3 十字キー（▶）を押す

4 十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

6 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

7 OKボタンを押す

日本語の「🔧設定」メニューが表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」の設定が「日本語」に設定し直されました。「現在地」と「日時」を設定しなおす必要がある場合は、下記のページをご覧になって、「現在地」を「東京」に、「日時」を現在の日時に設定し直してください。

- 現在地を変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（p.168）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（p.162）

現在地、夏時間の設定をする

初期設定
Language/言語　日本語
現在地
東京　DST OFF
MENU 取消　OK 決定

3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「現在地」に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

「現在地」画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）を押して、「東京」を選ぶ

6　十字キー（▼）を押す

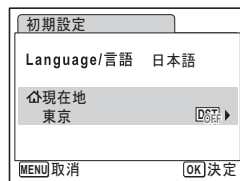
選択枠が「夏時間」に移動します。

7　十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

8　OK ボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

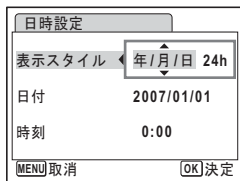
9　OK ボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3　十字キー（▶）を押す

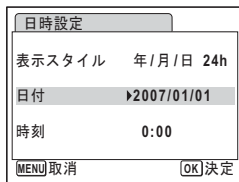
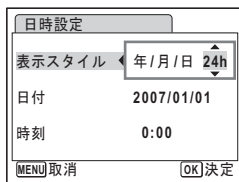
選択枠が「24h」に移動します。

4　十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5　十字キー（▶）を押す

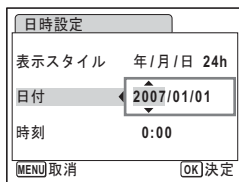
選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7　十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

9　OKボタンを押す

日時が確定し、撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

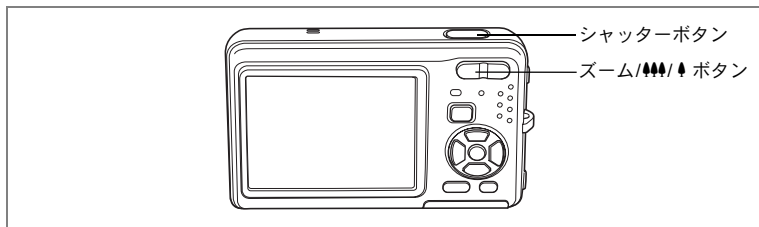
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.170）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.162）
- 現在地、夏時間のオン／オフを変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（☞p.168）

初期設定の途中でMENUボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

手順9で **OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式（NTSC/PAL）が選んだ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設定後の変更のしかたについては下記のページをご覧ください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式：「都市名一覧」（☞p.181）
- 初期設定後にビデオ出力方式を変更する：「ビデオ出力方式を選択する」(☞p.171)

静止画を撮影する

最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。

1 レンズカバーを開ける。

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止画撮影モード」と表記します。

フォーカスフレーム

2 液晶モニターを確認する

液晶モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/♠♠♠/♠ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写す

♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
撮影した画像は液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.40）

メモ

グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定するグリーンモードに切り替わります。グリーンモードでは、もっとも簡単にきれいな写真が撮れます。（p.64）

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し
シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。半押しのとき、ピントが合うと液晶モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、赤い枠が点灯します。

全押し
シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

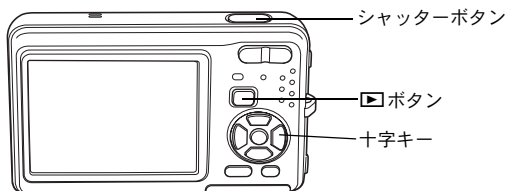
[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後には、撮影した画像が液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）されます。クイックビューの表示時間は変更できます。(p.99)
クイックビュー中に🗑ボタンを押すと、画像を消去できます。

静止画を再生する

画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。本書ではこの状態を▶モード（再生モード）と表記します。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態（▶モードの初期状態）を「1画面表示」と呼びます。
▶モード時にもう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

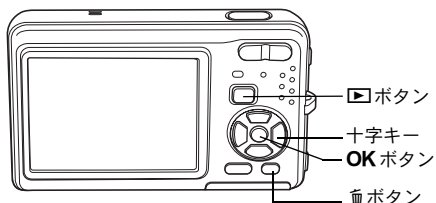
前後の画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。

▶ボタン
十字キー
OK ボタン
🗑ボタン

表示された画像を回転表示する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

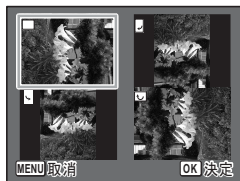
再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で◇（画像回転）を選び、OK ボタンを押す

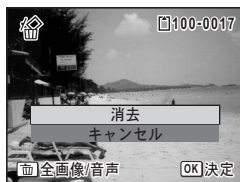
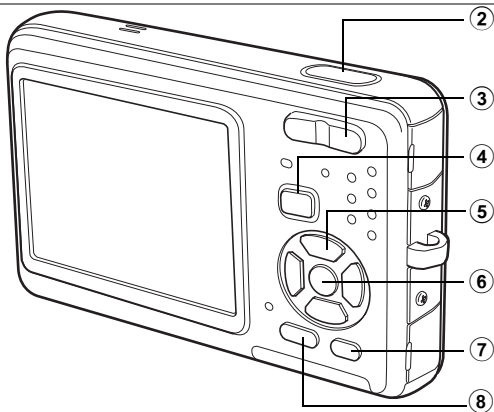
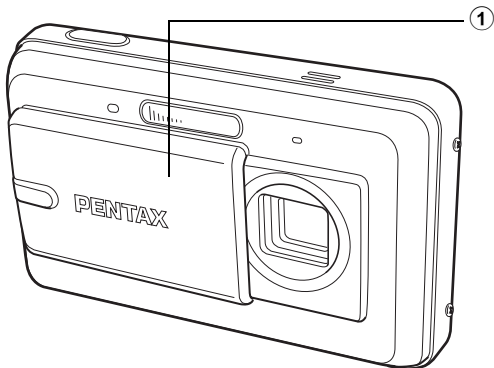
回転方向を4種類（0度、右90度、左90度、180度）から選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼◀▶）で回転方向を選び、OK ボタンを押す

MENU 取消　OK 決定

回転した状態で画像が表示されます。

- 動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び**OK** ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。（p.125）

ボタンの機能を使用する

モード時

① レンズカバー／電源スイッチ

電源をオフにします。（p.32）

② **シャッターボタン**
静止画撮影モードでは、半押しするとピント合わせを行います。（フォーカスモードが、**PF**、▲、**MF**のときを除く）（p.39）
全押しすると、静止画を撮影します。（p.39）
モードでは、動画の撮影を開始、終了します。（p.106）
モードでは、音声の録音を開始、終了します。（p.156）

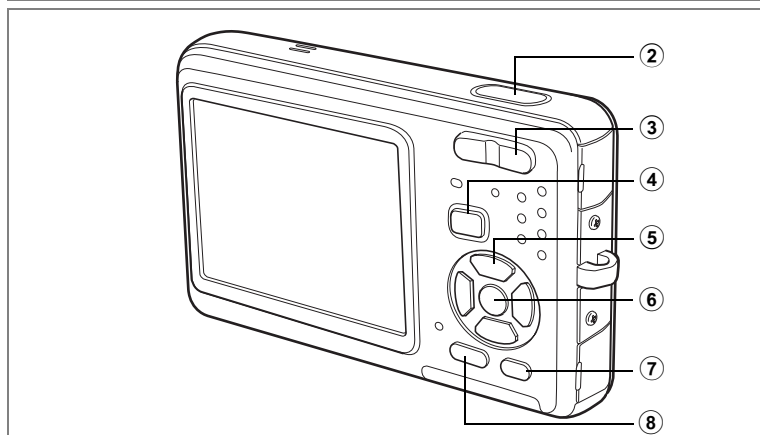
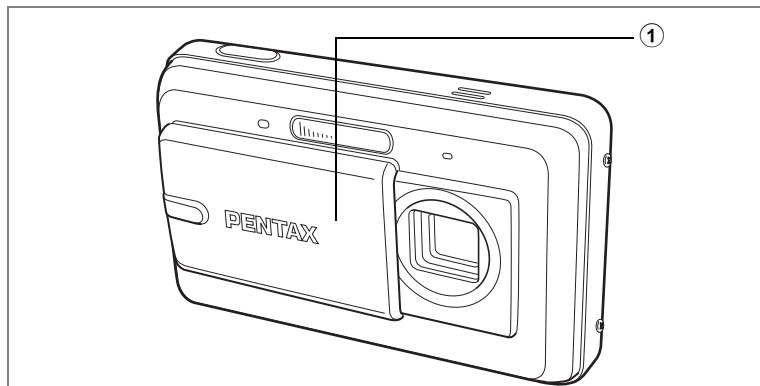
③ **ズーム/ / / / ボタン**
撮影する範囲を変えます。（p.75）

④ **ボタン**
モードに切り替えます。（p.115）

⑤ **十字キー**
（▲）　：ドライブモードを切り替えます。（p.73、p.74）
（▼）　：撮影モードパレットを表示します。（p.53）
（◀）　：ストロボモードを切り替えます。（p.86）
（▶）　：フォーカスモードを切り替えます。（p.84）
（▲▼）：**MF**設定時、**MF**調整をします。（p.85）

⑥ **OK/DISPLAYボタン**
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.82）

⑦ **グリーンボタン**
グリーンモードに移行します。（p.64）
特定のメニューをすばやく呼び出します。（p.57）
動画撮影時は、静止画を撮影します。（p.107）

⑧ **MENUボタン**
「撮影」メニューを表示します。（p.48）

▶モード時

① **レンズカバー／電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.32）

② **シャッターボタン**
📷モードに切り替わります。（p.115）

③ ズーム/⊞/Q ボタン

1画面表示時に⊞を押すと9画面表示になります。Qを押すと、前の表示に戻ります。(p.116)
1画面表示時にQを押すと画像が拡大表示されます。⊞を押すと前の表示に戻ります。(p.118)
9画面表示時に⊞を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示になります。(p.117)
フォルダ表示時にQを押すと、選択フォルダの9画面表示になります。(p.117)
カレンダー表示時にQを押すと、選択日付の9画面表示になります。(p.117)
動画・音声再生中に音量調節ができます。(p.123、p.158)

④ ▶ ボタン

📷モードに切り替えます。(p.115)

⑤ 十字キー

(▲)　　　：動画・音声を再生／一時停止します。(p.123、p.158)
(▼)　　　：再生モードパレットに移行します。(p.61)
再生中の動画・音声を停止します。(p.123、p.158)
(◀▶)　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。(p.41)
動画再生時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生、順方向再生をします。(p.123)
音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。(p.158)
(▲▼◀▶)：拡大表示時は、表示範囲を移動します。(p.118)
9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダ、カレンダー表示時は日付を選択します。(p.116、p.117)
フレーム合成時は、画像の位置を調整します。(p.142)

⑥ OK/DISPLAY ボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。(p.119)
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。(p.116、p.118)
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。(p.117)
カレンダー表示時は、選択日付の1画面表示に変わります。(p.117)

⑦ グリーン/🗑 ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します。(p.125)
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。(p.127)
フォルダ表示時は、カレンダー表示画面に移行します。(p.117)
カレンダー表示時は、フォルダ表示画面に移行します。(p.117)

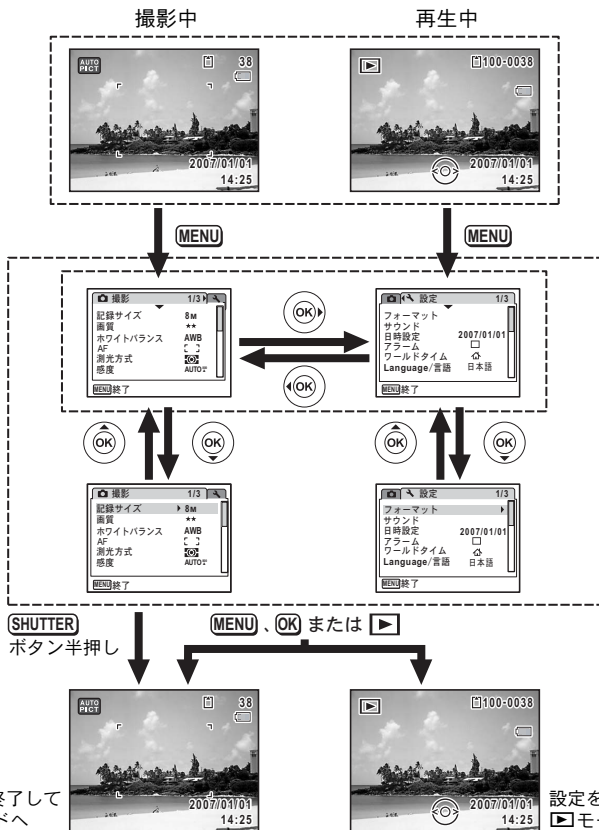
⑧ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します。（p.48）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.60）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.116）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.117）
カレンダー表示時は、選択日付の9画面表示に変わります。（p.117）

カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するには、**MENU** ボタンを押して、「◘ 撮影」メニューと「🔧 設定」メニューを呼び出します。また、画像や音声の再生・編集に関するメニューは、再生モードパレットから呼び出します。

メニューで設定する

◘ モードで**MENU**ボタンを押すと、「◘撮影」メニューが表示されます。
▶ モードで**MENU**ボタンを押すと、「🔧設定」メニューが表示されます。

メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が液晶モニターにガイド表示されます。

例）「撮影」メニューの「画質」の設定をする

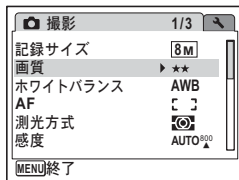
1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を押す

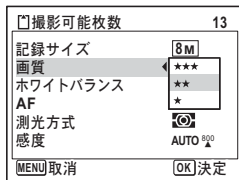
選択枠が「記録サイズ」に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

4 十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定の保存方法、変更の取り消し方法については、次のページをご覧ください。

設定を保存して撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6　▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6　OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6　MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 ：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
MENU ⮌ ：現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。
MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」(p.182)をご覧ください。

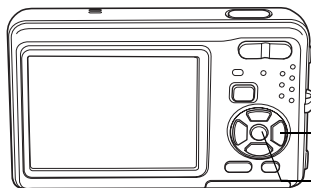
「📷撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

項目		内容	参照
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.88
画質		静止画像の画質を選びます。	p.90
ホワイトバランス		撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	p.91
AF	AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	p.97
	フォーカスリミット	レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。	p.98
測光方式		どの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。	p.93
感度		ISO感度を設定します。	p.95
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.81
動画	記録サイズ	動画の記録サイズを選びます。	p.108
	画質	動画の画質を選びます。	p.109
	フレームレート	フレームレート(1秒間に撮る画面数)を設定します。	p.110
	カラーモード	動画のカラーモードを選びます。	p.111
	Movie SR	手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。	p.112
	撮影中のAF	動画撮影中のピントの合わせ方を選びます。	p.113
	光学ズーム	動画撮影中に光学ズームを使うかどうかを設定します。	p.114
デジタルワイド		デジタルワイドを使うかどうかを設定します。	p.80
デジタルズーム		デジタルズームを使うかどうかを設定します。	p.76
クイックビュー		クイックビューの表示時間を設定します。	p.99
モードメモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。	p.104
グリーンボタン		撮影モード時にグリーンボタンで呼び出す機能を設定します。	p.57
シャープネス		画像の境界をハードまたはソフトにします。	p.100
彩度		色の鮮やかさを設定します。	p.101
コントラスト		画像の明暗差の度合いを設定します。	p.102
日付写し込み		静止画撮影時に日付の写し込みをするかどうかを設定します。	p.103

- 「撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、グリーンモードを利用してください。(p.64)
- よく使うメニューは、グリーンボタンの「Fn 設定」に登録しておくと、すばやく呼び出せます。(p.57)

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。	p.161
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.164
日時設定	日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。	p.162
アラーム	アラームを設定します。	p.166
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.168
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.170
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.171
USB接続	USB ケーブルの接続先(パソコンまたはプリンター)を設定します。	p.172
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.173
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	p.174
エコモード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.175
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.176
ガイド表示	撮影モードパレットや再生モードパレット表示時に、選択項目説明を表示します。	p.177
リセット	日時、言語、ワールドタイム、ビデオ出力以外の設定内容をご購入時の状態に戻します。	p.178

撮影モードを設定する

Optio Z10には、多彩な撮影モードが用意されており、撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録、音声の録音ができます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

撮影モードを選択して約2秒経過すると、選んだ撮影モードの説明が表示されます。
メニュー操作で説明の表示をさせないようにもできます。操作方法は、「ガイド表示を設定する」(p.177)をご確認ください。

3　OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

- 、、、、以外の撮影モードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されています。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「撮影モードごとの使える機能／使えない機能」（p.186）をご確認ください。
- 選択した撮影モードの説明を表示させないようにすることができます。（p.177）

3
機能共通操作

撮影モードには、次の16のモードがあります。

① AUTO PICT **オートピクチャーモード**

撮影モードの選択をカメラにまかせて撮影します。（p.62）

② P **プログラム**

一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影することもできます。（p.63）

③ **夜景**

夜景撮影に最適です。三脚などで固定して撮影してください。人物も入る場合はストロボを発光させてください。（p.66）

④ **動画**

動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。（p.106）

⑤ **ボイスレコーディング**

音声を記録するときに設定します。カメラ上部のマイクを手でふさがないように注意してください。（p.156）

⑥ **風景**

風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。

⑦ **花**

花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。

⑧ **美肌**

ポートレートモードよりも肌がより美しく見えるよう、色と明るさを設定しています。

⑨ **ポートレート**

人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

⑩ **サーフ＆スノー**

砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。

⑪ **スポーツ**

動きの速いものを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動くものにフォーカスを合わせ続けます。

⑫ **Digital SR（ぶれ軽減）**

室内や暗い場所など光量が少ない場所での撮影に適しています。高感度、高速シャッターで手ぶれと被写体ぶれを軽減します。（p.66）

⑬ **キッズ**

動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

⑭ **ペット**

ペットを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動き回るペットにフォーカスを合わせ続けます。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。（p.71）

⑮ **料理**

料理の撮影に適しています。彩度をやや高めにし、色鮮やかに仕上げます。

⑯ **フレーム合成**

フレーム付きの画像を撮影します。記録サイズは、3M に固定されます。（p.67）

特定のメニューをすばやく呼び出す

グリーンボタンにグリーンモードを設定すると、グリーンボタンを押したとき、グリーンモードに移行します。またFn設定を設定すると、グリーンボタンを押したとき、十字キーに割り当てられたメニューが表示されます。露出補正や感度、ホワイトバランスなど、よく使う機能を登録しておくと、少ない操作で設定ができます。

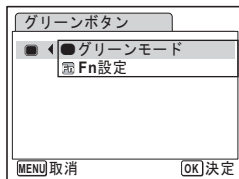
- Fn設定で登録できるのは、静止画モード選択時は記録サイズ・画質・ホワイトバランス・AFエリア・フォーカスリミット・測光方式・感度・露出補正・シャープネス・彩度・コントラスト、🎥モード選択時は記録サイズ・画質・フレームレート・カラーモード・Movie SR・ホワイトバランス・AFエリア・露出補正・シャープネス・彩度・コントラストです。
- 「グリーンボタン」の設定は「🔧設定」メニューの「リセット」でご購入時の状態に戻せます。
- グリーンボタンに登録した機能は、元のメニュー（「📷撮影」「🔧設定」）でも同じように使用できます。

グリーンボタンにグリーンモードを登録する

1　「📷撮影」メニューの「グリーンボタン」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼）でグリーンモードを選ぶ

4　OKボタンを押す

📷撮影メニューに戻ります。

5　MENUボタンを1回押す

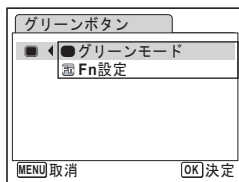
設定した内容で撮影できる状態になります。

グリーンボタンにFn設定を登録する

1　「◘撮影」メニューの「グリーンボタン」を選ぶ

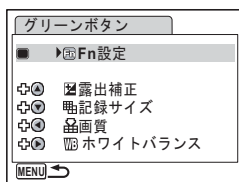
2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「Fn設定」を選ぶ

4　OKボタンを押す

5　十字キー（▲▼）で設定する十字キーを選ぶ

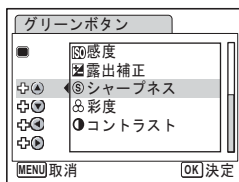
6　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

7　十字キー（▲▼）で設定する機能を選び、OKボタンを押す

8　手順5～7を繰り返し、必要な機能を登録する

9　MENUボタンを2回押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

3 機能共通操作

グリーンボタンを使う

1 📷モードでグリーンボタンを押す

「📷撮影」メニューの「グリーンボタン」で割り当てた機能が呼び出されます。「Fn設定」が呼び出された場合、十字キー（▲▼◀▶）に割り当てた機能が表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、変更したい機能を選択する

3 設定を変更し、OKボタンまたはMENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

- 「Fn設定」の十字キーに感度を割り当てている場合、AUTOの自動調整範囲は、ここでの操作では変更できません。AUTOを選ぶ場合は、あらかじめメニュー操作でISO感度の自動調整範囲を設定しておいてください(p.96)。また同じようにホワイトバランスを割り当てている場合、ここでの操作では変更できません。あらかじめメニュー操作でマニュアルホワイトバランス値を設定してください。
- グリーンモード以外の機能を割り当てている場合、グリーンボタンを押した後に1分間何もしないと元の画面に戻ります。

再生モードを設定する

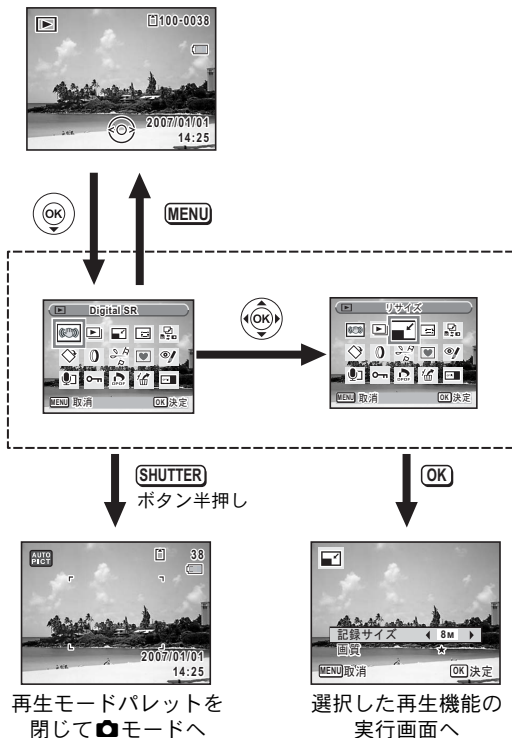
▶モードで十字キー（▼）を押すと再生モードパレットが表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）を使ってアイコンを選び、**OK**ボタンを押すだけで、使用したい再生機能を呼び出すことができます。

MENU

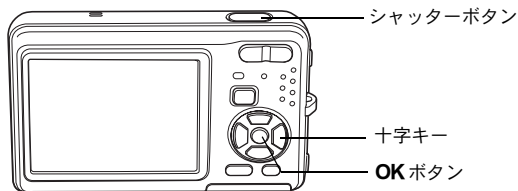
SHUTTER
ボタン半押し

OK

再生モードパレットを
閉じて📷モードへ

選択した再生機能の
実行画面へ

- 再生モードパレットの各アイコンに選択枠を合わせると約2秒後にガイド表示されます。
- 選択した再生モードの説明を表示させないようにすることができます。（p.177）

再生モードパレット一覧

項目		内容	参照
Digital SR		撮影した画像の手ぶれを軽減する補正をします。	p.120
スライドショウ		保存された画像を連続して再生します。	p.121
リサイズ		画像の記録サイズと画質を変更します。	p.133
トリミング		画像周囲の不要な部分をカットします。	p.135
画像/音声コピー		内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。	p.136
画像回転		撮影した静止画を回転表示します。	p.42
デジタルフィルタ		撮影した静止画を好みに合わせて加工します。	p.138
動画編集	静止画保存	動画の1コマを静止画として保存します。	p.145
	動画分割	1つの動画を2つに分割します。	p.146
	動画結合	2つの動画を結合します。	p.147
フレーム合成		撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.142
赤目補正		ストロボ撮影で人物の目が赤く写った静止画を補正します。	p.141
ボイスメモ		撮影した静止画に音声（ボイスメモ）を付けます。	p.159
プロテクト		画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。	p.131
DPOF		撮影した静止画にDPOF設定をします。	p.148
削除画像復活		消去した画像を元に戻します。	p.130
起動画面設定		起動画面を設定します。	p.179

撮影する

カメラまかせで撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、カメラがシーンに応じて☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）の中から最適な撮影モードを選びます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャーモード）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

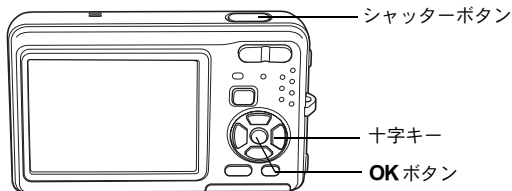
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

静止画を撮影する ☞p.39

機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でP（プログラムモード）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

4　必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.84～p.103）をご覧ください。

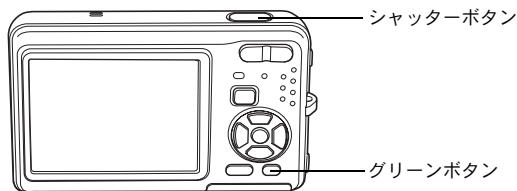
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

Pモード以外の撮影モードが選択されているときは、撮影モードパレットでPモードを選択します。（p.53）

静止画を撮影する ☞p.39

簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンモードでは、「◘撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定（※）で手軽に撮影を楽しめます。

1　◘モードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを全押しする

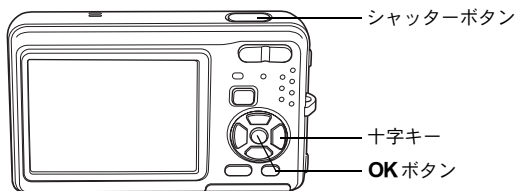
撮影されます。

- グリーンモードでは、**OK/DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを使用できません。「撮影」メニューや撮影モードパレットを表示させようとすると（キーロック表示）が表示されます。

キーロック表示

- グリーンモードからモードに移行した場合、**MENU** ボタンを押しても、「設定」メニューを表示できません。「設定」メニューを表示させようとすると（キーロック表示）が表示されます。
- 撮影モードをグリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

※ グリーンモードでの設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	（オート）
ドライブモード	□（標準）
フォーカスモード	**AF**（標準）
情報表示	標準
記録サイズ	8M
画質	★★（ファイン）
ホワイトバランス	**AWB**（オート）
AFエリア	[　]（マルチ）
フォーカスリミット	□（オフ）
測光方式	（分割測光）
感度	オート 64～800
露出補正	±0.0
デジタルワイド	□（オフ）
デジタルズーム	☑（オン）
クイックビュー	1秒
シャープネス	（標準）
彩度	（標準）
コントラスト	（標準）
日付写し込み	□（オフ）

暗いシーンを撮影する（夜景／Digital SR（ぶれ軽減）モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

夜景アイコン	夜景を撮影するときに使います。
Digital SRアイコン	室内や暗い場所など光量が少ない場所での撮影に適しています。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◄►）で、夜景アイコン（夜景）またはDigital SRアイコン（Digital SR（ぶれ軽減））を選ぶ

3　OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

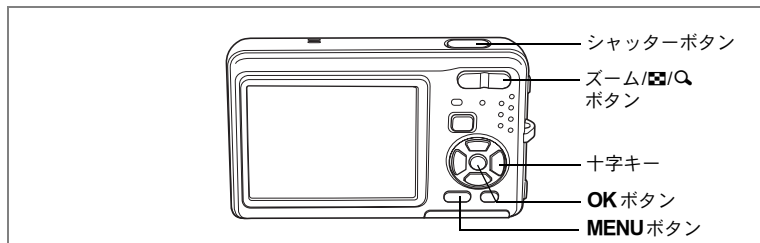
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなります。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.73）
- Digital SRアイコンでは、ISO感度はAUTO（64～3200）のみになります。

4 撮影

フレームをつけて撮影する（フレーム合成モード）

フレーム合成モードでは、カメラに保存されているフレームに合わせて撮影することができます。

1　📷モードで十字キー（▼）を押す
撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

3　OK ボタンを押す
フレーム選択の9分割画面が表示されます。

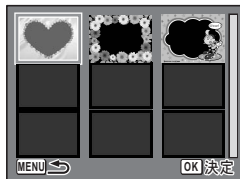
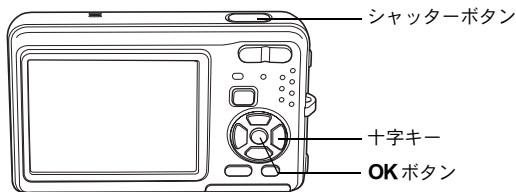
4　十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

5　OK ボタンを押す
選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

- 十字キー(◀▶)を押して別のフレームを選択する
- MENU ボタンまたはズーム /⊞/🔍 ボタンの⊞を押して、フレーム選択の9分割画面に戻り、手順 4 と同様の操作で別のフレームを選択する

6　OK ボタンを押す
フレーム付きの撮影画面が表示されます。

7　シャッターボタンを半押しする
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

8　シャッターボタンを全押しする
撮影されます。

フレーム合成モードの記録サイズは、3M（2048×1536）に固定されます。

人物を撮影する（美肌モード／ポートレート）

、モードでは、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物の正面にカメラを向けるだけで顔の位置を自動的に認識し、フォーカスを合わせ（顔認識AF）、露出を調整（顔認識AE）して撮影します。

	人物を撮影するときに使います。肌がより美しく撮影できます。
	人物を撮影するときに使います。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（美肌）または（ポートレート）を選ぶ

3　OKボタンを押す

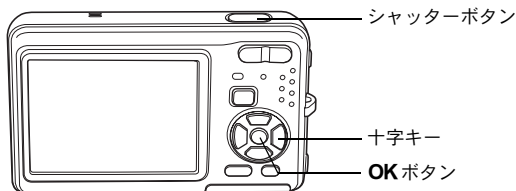
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色の（複数の顔を認識したときにはメインのみ黄色）フォーカスフレームが表示されます。被写体が動くと、フォーカスフレームが顔の位置を追尾してフォーカスフレームの大きさ、位置が変化します。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 被写体の顔が認識できない場合、通常のAFエリア（マルチ）でフォーカスを合わせます。
- 、 モードでは、連続撮影および高速連写はできません。
- 被写体がサングラスをかけるなどして顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面でない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 、 モードでは、「測光方式」は「分割測光」に固定されます。

子供を撮影する（キッズモード）

☻（キッズモード）は、動きの多い子供の撮影に適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物の正面にカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影します。

☻	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

1　◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◄►）で、☻（キッズモード）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

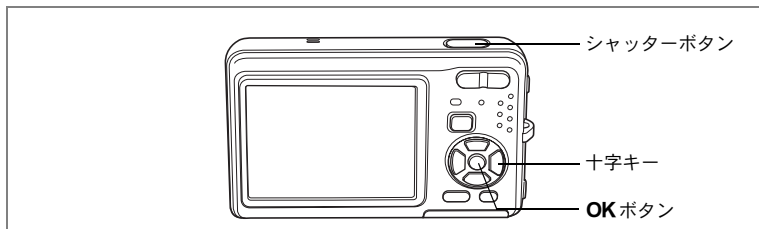
液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色の（複数の顔を認識したときにはメインのみ黄色）フォーカスフレームが表示されます。被写体の動きを追尾して、フォーカスフレームの位置と大きさが変化します。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- ☻モードでは、連続撮影および高速連写はできません。
- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 測光方式は、分割測光に固定されます。
- 顔認識をしていないときは≡()（自動追尾AF）が働いて、シャッターボタンを半押ししてからも、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。

ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、動き回るペットにフォーカスを合わせ続け、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（ペット）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

ペットモードの選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）でを選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

5　OK ボタンを押す

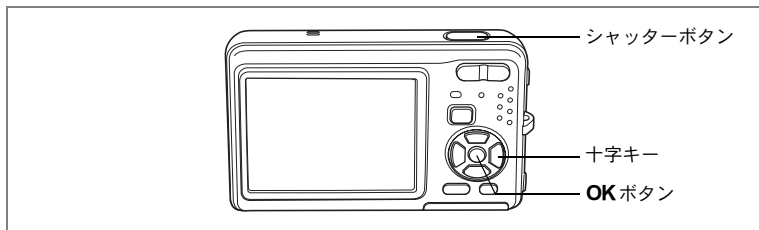
ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
シャッターボタンを半押しし続けている間、フォーカスフレームがペットを追い続けます。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

モードでは、「測光方式」は「分割測光」に固定されます。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

⏱	撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。 シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。
⏱2s	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。

1 📷モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶▼）を押して、⏱ または⏱2sを選択し、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

3 シャッターボタンを半押しする

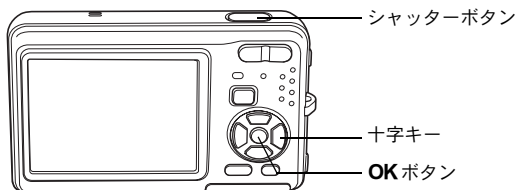
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

10秒後または2秒後に撮影されます。

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

メモ

- 🎥モードでは、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- ⏱2sは●の初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで⏱2sを選んでから、撮影モードを●に切り替えると、選べるようになります。

連続して撮影する（連続撮影／高速連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。
	高速連写	バッファメモリーの容量いっぱいまで、4コマ／秒の速度で連続して撮影します。

1　モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）を押して、（連続撮影）または（高速連写）を選択し、OK ボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

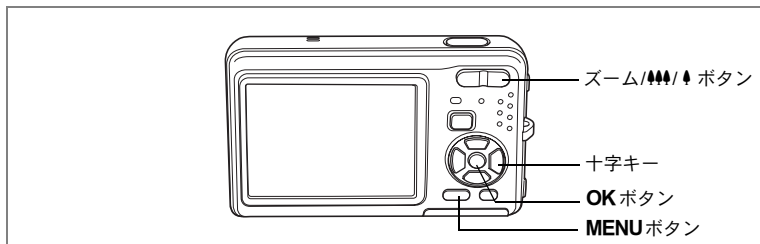
シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

注意

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- AUTO PICT、、、、、、、、では、連続撮影はできません。

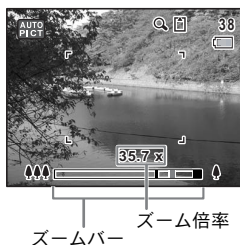
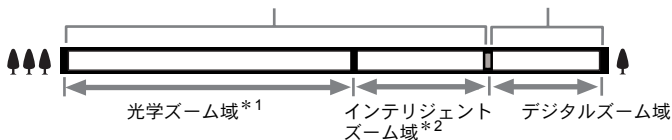
メモ

- SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- 高速連写の記録サイズは、3M に固定されます。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。

4 撮影

ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 ◘モードでズーム/♠♠♠/♠ ボタンを押す

♠♠♠ 広角：被写体を広い範囲で写す
♠　望遠：被写体を拡大して写す
押し続けると、自動的に光学ズーム、インテリジェントズーム ムに切り替わり、デジタルズームの切り替わり点で止まります。
一旦ボタンを離して、もう一度押すとズームします。

ズームバーは、次のように表示されます。

*1 光学7倍までズームできます。
*2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム	デジタルズーム
8M	使えません（光学7倍のみ）	約35.7倍相当
5M	約8.1倍	
4M	約8.8倍	
3M	約9.9倍	
2M	約11.2倍	
1024	約22.3倍	
640	約35.7倍（デジタルズームと同じ）	

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。
- 🎥 モードで撮影中に光学ズームを使用した場合、撮影環境によってはレンズ駆動の作動音が音声録音に入ることがあります。
- 次の場合、インテリジェントズームは使えません。
  デジタルズームがオフになっているとき
  記録サイズが8Mのとき（光学7倍ズームは使えます。）
  動画モード時
- インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、液晶モニターの画像があらく見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- 動画モードでは、デジタルズームのみ使えます。使うには、「📷撮影」メニューのMovie SRをオフにしてください。（p.112）

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

1　📷モードでMENUボタンを押す

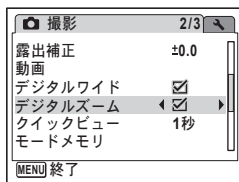
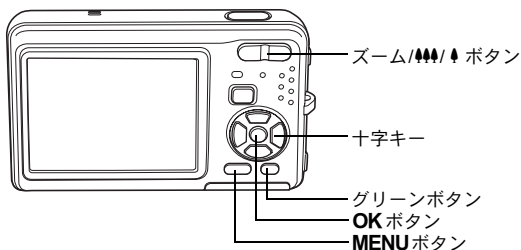
「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

選んだ設定が保存されます。

4　MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.104

デジタルワイドを使って撮影する

デジタルワイド機能を使って、ワイド画像を撮影します。
デジタルワイドは、2枚の撮影画面を合成することで、約28mm相当（35mmフィルム換算）の広角撮影ができます。

1 モードで、ズーム/♣♣♣/♠ボタンの♣♣♣側を押す

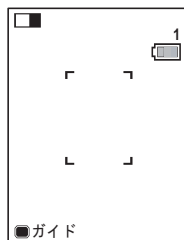
ズーム/♣♣♣/♠ボタンの♣♣♣側を押しつづけてズームを最も広角の位置にした状態で、一旦、指を離してもう一度押します。

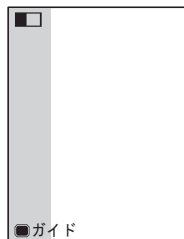
2 十字キー（▲）を押す

3 OKボタンを押す

デジタルワイドモードに入り、画面中央に約5秒間解説が表示されます。
反時計方向にカメラを90°回して縦位置に構え、1枚目の構図を決めます。

4 シャッターボタンを押します

一枚目の撮影画像が保存され、二枚目の撮影画面が表示されますので、画面左の位置あわせガイドに画像を重ねて、構図を決めます。
撮影を途中でやめるには手順6へ進みます。

5 シャッターボタンを押します

一枚目と二枚目の撮影画面が合成されます。
合成された画像は液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリに保存されます。

- 2枚目を撮影するときは、ガイドの右端を軸にしてカメラを旋回させるようにすると、ひずみの少ない写真ができます。
- 1枚目と2枚目の重ね合わせ部分に、動くものや繰り返しパターンの像が来たり、逆に何も無い場合は、うまく合成できないことがあります。

6　MENUボタンまたはOKボタン、ズーム/♠♠♠/♠ボタンを押す

7　十字キー（▲）を押す

8　OKボタンを押す

デジタルワイドモードを終了します。

デジタルワイド機能を設定する

初期設定では、デジタルワイドは、☑（オン）に設定されています。
📷モードで、ズーム/♠♠♠/♠ボタンの♠♠♠側を押したときにデジタルワイドに入るか入らないかを設定します。

1　📷モードでMENUボタンを押す

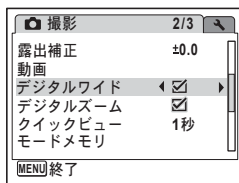
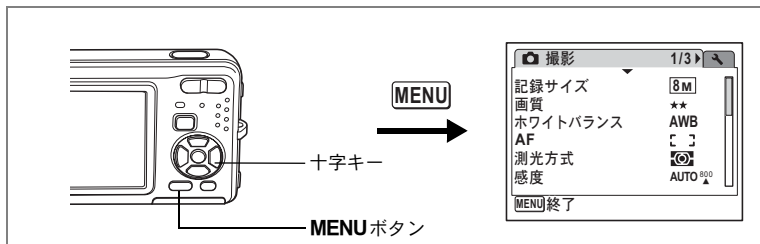
「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルワイド」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

選んだ設定が保存されます。

4　MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

露出を補正する

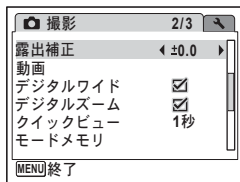
撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

撮影 2/3
露出補正 ◀ ±0.0 ▶
動画
デジタルワイド ☑
デジタルズーム ☑
クイックビュー 1秒
モードメモリ
MENU 終了

1 📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）を押して、補正量を選ぶ

選んだ補正量で保存されます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

- 露出補正機能をよく使う場合は、グリーンボタンの「Fn 設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）
- ヒストグラムを表示すると、液晶モニター上に白とび、黒つぶれ個所が表示され、露出が適切かどうかを確認できます。（p.83）
- AUTO PICT、●では、露出補正機能は使用できません。

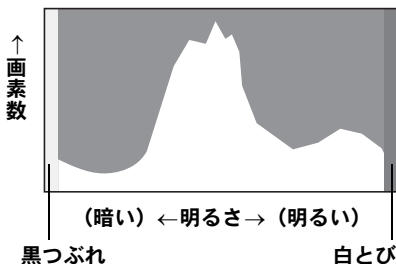
露出補正値を保存する ☞p.104

撮影情報を確認する

OK/DISPLAY ボタンを押すたびに、液晶モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム＋情報表示」「情報表示なし」「バックライトオフ」に切り替わります。
表示内容の詳細は、「画面の表示」（p.18）をご覧ください。

- バックライトがオフの時にも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。
- 手ぶれしやすい条件のとき、が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.73）
- モードでは、**OK/DISPLAY** ボタンを押して表示を切り替えることはできません。

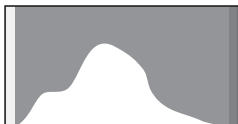
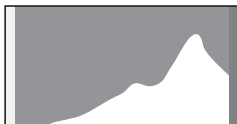
ヒストグラムを使う

ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表したグラフです。横軸は明るさ（左端は黒、右端は白）を、縦軸は各明るさごとの画素数を示します。
撮影前や撮影後にヒストグラムの形状を見ることで、画像の明るさと明暗差が適正かどうかを確認し、露出補正や撮り直しの判断にご利用いただけます。

露出を補正する ☞p.81

画像の明るさを見る

画像の明るさが適正な画像では、グラフの山は中央にあります。しかし、暗い画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右側に偏ります。

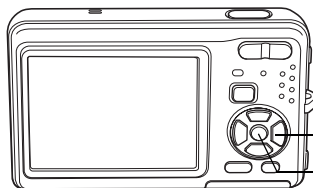
暗い画像

適正な明るさの画像

明るい画像

また、画像の中で、暗過ぎてヒストグラムの左端よりも左に来てしまう部分は真っ黒になり（黒つぶれ）、明る過ぎてヒストグラムの右端よりも右に来てしまう部分は真っ白になってしまいます（白とび）。
Optio Z10には、黒つぶれ部分を黄色く、白とび部分を赤く点滅表示させる機能があります。

撮影情報を確認する ☞p.82
撮影時の情報を表示する ☞p.119

明暗差のバランスを見る

明暗差のバランスが取れた画像では、グラフの中央部になだらかな山のピークが来ます。しかし、明暗差が激しく、中間的な明るさの部分が少ない画像では、左右に山のピークが来て、中央部分がくぼんだグラフになります。

撮影のための機能を設定する

ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

フォーカスモード

AF	標準	被写体までの距離が40cm 以上のときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
(マクロアイコン)	マクロ	被写体までの距離が約8cm～約50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までピントが合うようになります。
▲	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは(発光禁止アイコン)（発光禁止）となります。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます。

1 　(撮影アイコン)モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2 　OK ボタンを押す

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。

4
撮影

- ●モードでは、AF、PF、✿のみ選択できます。
- 🎥モードでフォーカスモードをPF、▲以外を選択した場合、撮影環境によっては撮影中のピント合わせ時の作動音が音声録音に入ることがあります。
- AFを選択して撮影する場合、被写体までの距離が40cmより近いと、自動的に8cmからのピント合わせが行われます。（フォーカスリミットがオフのとき）
- ✿を選択して撮影する場合、被写体までの距離が50cmより遠いと、自動的に∞（無限遠）までのピント合わせが行われます。（フォーカスリミットがオフのとき）

フォーカスモードを保存する ☞p.104

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MFでの設定方法を説明します。

1 📷モードで十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▶）を押してMFを選び、OKボタンを押す

ピント合わせ中は、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大して表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押す

液晶モニターにMFバーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。

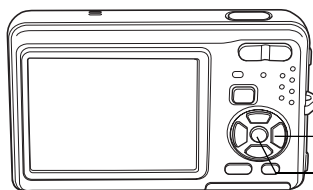
▲ ：遠くにピントが合う

▼ ：近くにピントが合う

4 OKボタンを押す

フォーカス位置が決まり、撮影できる状態になります。
十字キー（▶）から手を離して5秒以上経過した場合も、フォーカス位置が決まります。
フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー (▶）を押すと、MFバーが表示され、ピントを合わせ直すことができます。

MFから他のフォーカスモードに切り替えるときは、MFバーが表示されている間に十字キー（▶）を押してください。

MFバーが表示されている間は、撮影モードやドライブモードを変更できません。

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。 自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても、明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが🎥、ドライブモードが▭、▭、フォーカスモードが▲に設定されているときは、常に⊘（発光禁止）になります。
- 赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- ●モードでは、⚡Aと⊘のみ選択できます。
- ▭モードでは、⚡Aと👁Aは選択できません。

近距離撮影時にストロボを発光させると、ストロボの配光にムラができる場合があります。

1　📷モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2　OKボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

［ストロボ撮影の赤目現象について］

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を👁A（オート＋赤目）や👁⚡（強制＋赤目）にするのも有効です。
それでも赤目になってしまった画像は、赤目補正機能（p.141）を使って修正できます。

ストロボ発光方法を保存する ☞p.104

記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ（記録画素数）を7種類から選べます。
記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真のきれいさには画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。ただし、画像の容量は画質の設定（p.90）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ		用途
8M 3264×2448	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2592×1944		
4M 2304×1728		
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024× 768		
640 640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

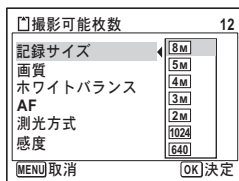
4　十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

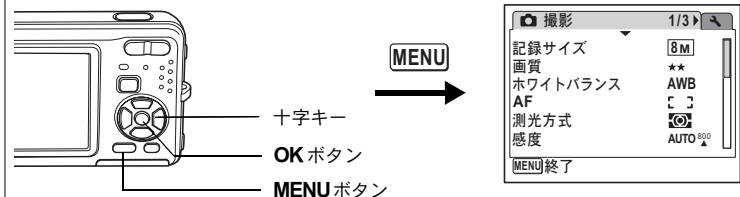
5　OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

撮影可能枚数　12
記録サイズ　8M
画質　5M
ホワイトバランス　4M
AF　3M
測光方式　2M
感度　1024
640
MENU 取消　OK 決定

6　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードがに設定されているときは、記録サイズは3M、画質は★★に固定されます。
- ドライブモードがに設定されているときは記録サイズが3Mに固定されます。
- デジタルワイドモードで撮影した画像は5Mに固定されます。（ただし、2枚目の撮影をせずにデジタルワイドを終了した場合は3Mになります）
- 「記録サイズ」をよく使う場合は、グリーンボタンの「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

画質を選択する

静止画像の画質（圧縮率）が選べます。
★の数が多いほど、圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、容量も増えます。ただし、画像の容量は、記録サイズの設定(p.88)によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

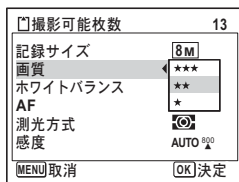
ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

5 OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 「画質」をよく使う場合は、グリーンボタン「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.57)
- 撮影モードがに設定されているときは、画質は★★に固定されます。

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色合いに調整する度合いを設定します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
日陰アイコン	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
白熱灯アイコン	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
マニュアルアイコン	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

ホワイトバランスをAWB（オート）に設定して撮影した画像がお好みの色合いでない場合には、ホワイトバランスをAWB（オート）以外に設定してください。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「ホワイトバランス」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5　OKボタンを押す

ホワイトバランスの設定が保存されます。

4

撮影

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。
マニュアルで設定する場合は、p.92をご覧ください。

メモ
「ホワイトバランス」をよく使う場合は、グリーンボタン「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

ホワイトバランスを保存する ☞p.104

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 「ホワイトバランス」画面で十字キー（▲▼）を押して（マニュアル）を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニター画面中央に表示されている枠の中いっぱいに素材が入るよう、カメラを構える

ホワイトバランス
AWB
SHUTTER 調整
MENU 取消
OK 決定

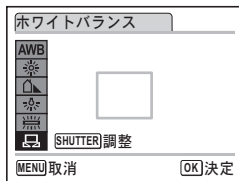
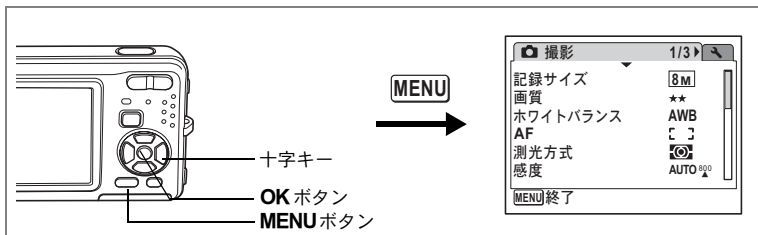
3 シャッターボタンを全押しする

ホワイトバランスが自動的に調整されます。

4 OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「撮影」メニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

測光方式

アイコン	名称	説明
(分割測光アイコン)	分割測光	画面内を256分割して明るさを測り、露出を決めます。
(中央重点測光アイコン)	中央重点測光	画面の中央に重点を置きつつ、画面全体の明るさを均等に測って露出を決めます。
(スポット測光アイコン)	スポット測光	画面の中央だけの明るさを測り、露出を決めます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「測光方式」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

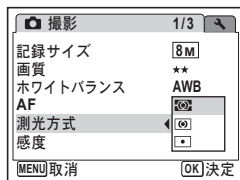
ポップアップが表示されます。

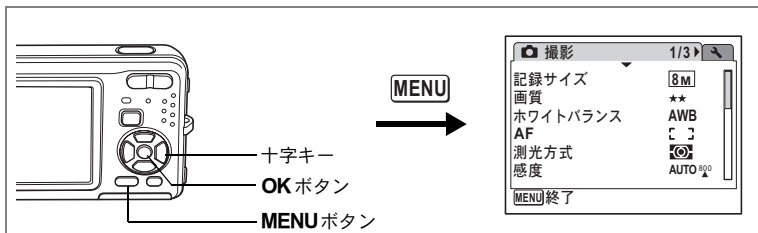
4　十字キー（▲▼）で測光方式を選ぶ

5　OKボタンを押す

測光方式の設定が保存されます。

6　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 測光は、シャッターボタンを半押ししたときに行われ、露出が決定されます。
- 画面の中央にない被写体を「スポット測光」を利用して適正露出で撮影したいときは、いったん被写体を画面中央に置き、シャッターボタンを半押しして露出を固定してからカメラを動かし、撮りたい構図を決めます。
- 「測光方式」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.57)
- AUTO PICT、、、、、、、、、、 モードでは、「測光方式」は「分割測光」に固定されます。

測光方式を保存する ☞p.104

ISO感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、ISO感度を設定することができます。

ISO感度

AUTO	「オート感度自動調整範囲」(p.96) で設定した範囲で自動調整されます。
64	• ISO感度が低い (数字が小さい) ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • ISO感度が高い (数字が大きい) ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	
800	
1600	
3200	

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー (▲▼) を押して「感度」を選ぶ

3 十字キー (▶) を押す

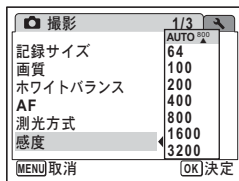
ポップアップが表示されます。

4 十字キー (▲▼) でISO感度を選ぶ

5 OKボタンを押す

ISO感度の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードがに設定されているときは、AUTO(64-3200)のみになります。
- 「感度」をよく使う場合は、グリーンボタンのFn設定に登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.57)

ISO感度を保存する ☞p.104

オート感度自動調整範囲を設定する

ISO感度の自動調節範囲を「64～100」「64～200」「64～400」「64～800」「64～1600」「64～3200」のいずれかに設定できます。
※ オートの初期値は、ISO64～800です。

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「AUTO」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

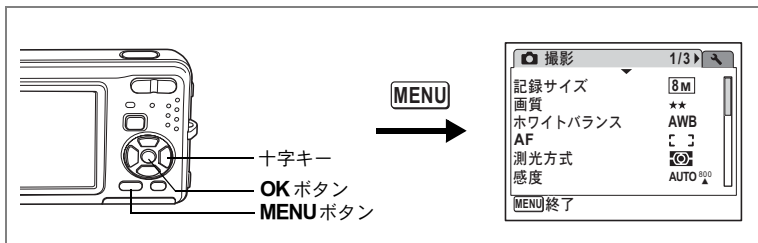
「感度AUTO設定範囲」画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼◀▶）でISO感度を選ぶ

7　OKボタンを2回押す

オート感度の設定が保存されます。

8　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

オートフォーカス条件を設定する

オートフォーカスに関するいろいろな条件を設定します。

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

[ ]	マルチ	通常範囲に設定します。
[ ]	スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。
≡()	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

1 　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

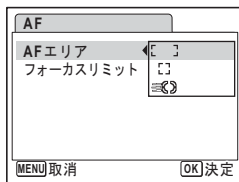
「AF」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

4 撮影

7 OKボタンを押す

AFエリアの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- モードで選べる「AFエリア」は、[ ]（マルチ）と[ ]（スポット）のみです。
- 、、 モードでは、「AFエリア」は[ ]（マルチ）に固定されます。
- モードでは、「AFエリア」は（自動追尾）に固定されます。
- 「AFエリア」をよく使う場合は、グリーンボタンのFn設定に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

フォーカスリミットを設定する

レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。
「フォーカスリミット」を☑（オン）にすると、レンズの移動が通常の撮影では通常の範囲から遠距離側に、マクロ撮影では近距離側に制限されます。素早いピント合わせが可能になります。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「AF」画面が表示されます。

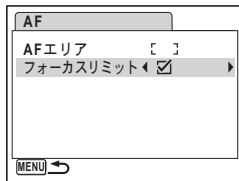
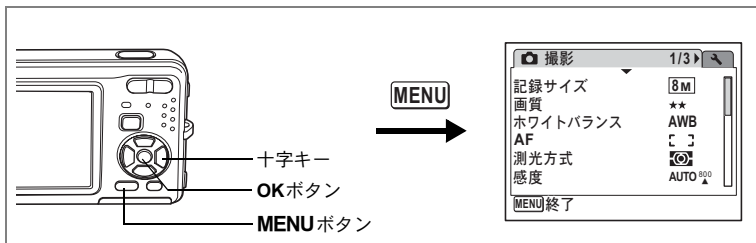
4 十字キー（▲▼）を押して「フォーカスリミット」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）を押して☑（オン）／□（オフ）を切り替える

フォーカスリミットの設定が保存されます。

6 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4 撮影

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選びます。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

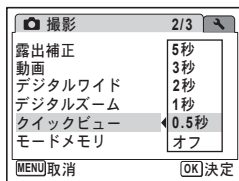
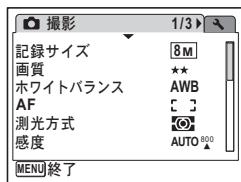
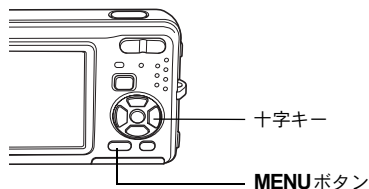
ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

5　OKボタンを押す

クイックビューの設定が保存されます。

6　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

クイックビュー ☞p.40

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1 　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

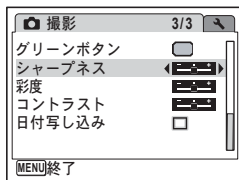
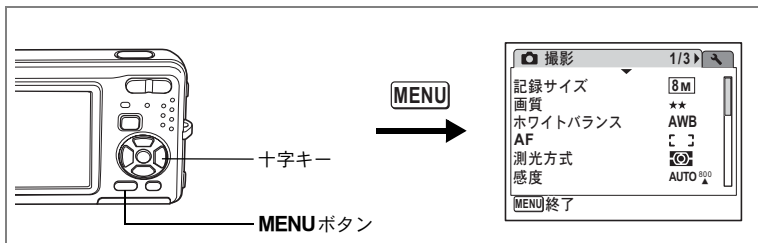
3 十字キー（◀▶）でシャープネスの強さを切り替える

下記の設定で保存されます。

（ソフト）
（標準）
（ハード）

撮影 3/3
グリーンボタン
シャープネス
彩度
コントラスト
日付写し込み
MENU 終了

4 MENUボタンを押す

保存されたシャープネスで、撮影できる状態になります。

メモ
「シャープネス」をよく使う場合は、グリーンボタンの「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

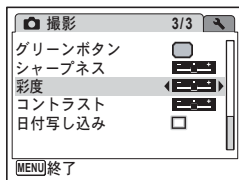
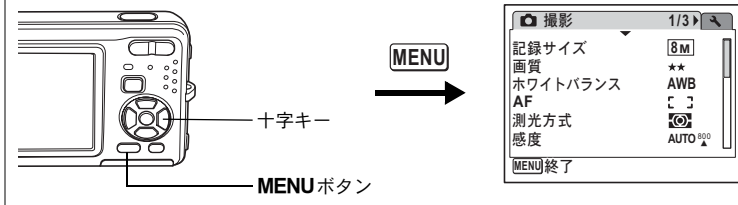
3　十字キー（◄►）で彩度の高さを切り替える

下記の設定で保存されます。

（低）
（標準）
（高）

撮影 3/3
グリーンボタン
シャープネス
彩度
コントラスト
日付写し込み
MENU 終了

4　MENUボタンを押す

保存された彩度で、撮影できる状態になります。

「彩度」をよく使う場合は、グリーンボタンの「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

コントラストを設定する

画像の明暗差の度合いを設定します。

1 ◘モードでMENUボタンを押す

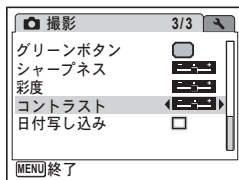
「◘撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

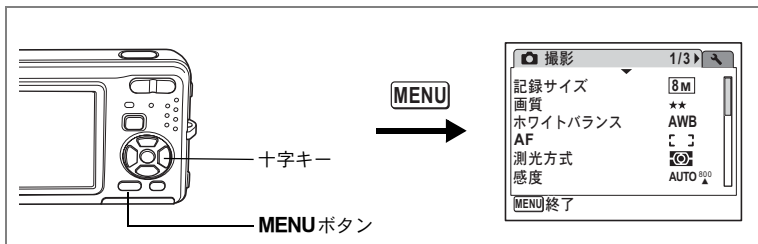
3 十字キー（◀▶）でコントラストの高さを切り替える

下記の設定で保存されます。

- （低）
- （標準）
- （高）

撮影 3/3
グリーンボタン
シャープネス
彩度
コントラスト
日付写し込み
MENU 終了

4 MENUボタンを押す

保存されたコントラストで、撮影できる状態になります。

メモ　「コントラスト」をよく使う場合は、グリーンボタンの「Fn設定」に登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.57）

日付写し込みを設定する

静止画撮影時に日付の写し込みを行うかどうかを設定します。

1　📷モードでMENUボタンを押す

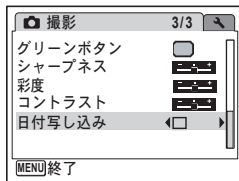
「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「日付写し込み」を選ぶ

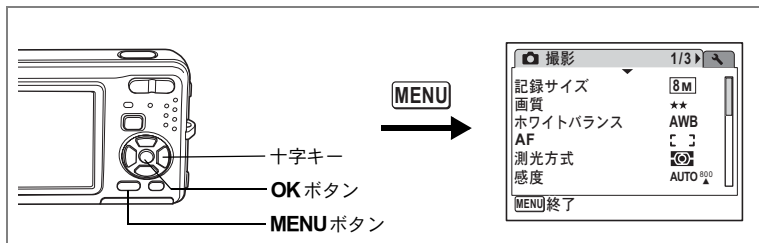
3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

選んだ設定が保存されます。

4　MENUボタンを押す

4
撮影

設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

項目	内容	初期設定
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.86）	☑
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.73、p.74）	□
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.84）	□
ズーム位置	ズーム/♣♣♣/♣ボタンで設定したズーム位置（p.75）	□
MF位置	十字キー（▲▼）で設定したマニュアルフォーカスでのピントの合う距離（p.85）	□
ホワイトバランス	「◘撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定（p.91）	□
感度	「◘撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.95）	□
露出補正	「◘撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.81）	□
測光方式	「◘撮影」メニューの「測光方式」での設定（p.93）	□
デジタルズーム	「◘撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（p.76）	☑
DISPLAY	**OK/DISPLAY**ボタンで設定した液晶モニターの情報表示状態（p.82、p.119）	□
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

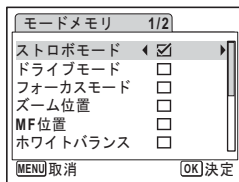
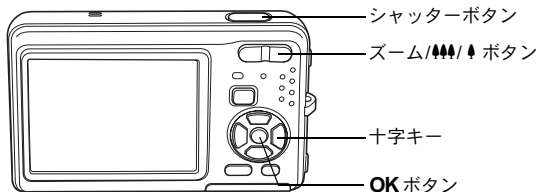
5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを押す

モードメモリの設定が保存されます。

7 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4
撮影

動画を撮影する

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で🎥（動画）を選ぶ

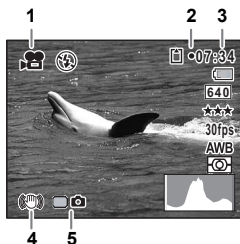
3　OK ボタンを押す

🎥モードが選択され、撮影できる状態になります。

液晶モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 録画中アイコン（録画中に点滅）
3 撮影可能時間
4 手ぶれ補正アイコン
5 静止画キャプチャーアイコン（p.107）

ズーム/♠♠♠/♠ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠　：被写体を拡大して写す
♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

4　シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。録画は連続で内蔵メモリー/SDメモリーカードの容量いっぱい、または最大で2GBまで可能です。

- 🎥モードでは、ストロボは発光しません。
- フォーカスモードは、撮影開始前に変更することができます。
- 🎥モードでは、「測光方式」は「分割測光」に固定されます。
- フォーカスモードを**MF**に設定している場合は、撮影開始前にも撮影中にもピントを調整することができます。
- 光学ズームとデジタルズームは、撮影開始前にも撮影中にも使うことができます。
- 動画撮影中は、**OK**/**DISPLAY**ボタンを使って液晶モニターの表示を切り替えても、ヒストグラムは表示されません。

光学ズームを設定する ☞p.114

5　シャッターボタンを全押しする

録画が終了します。

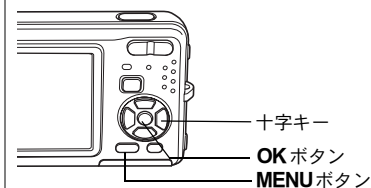
動画を再生する ☞p.123

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画の撮影中に静止画を撮影する（静止画キャプチャー）

動画の撮影中にグリーンボタンを押すと、動画の撮影を続けながら静止画を撮影することができます。グリーンボタンを押した瞬間の1コマが静止画として保存されます。

バッテリー残量表示が ▭（残量がほとんどない）の状態では、動画撮影中に静止画を撮影するときにストロボが発光しません。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズを 640、320 から選べます。
「記録サイズ」が大きいほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えます。ファイルサイズは「画質」や「フレームレート」の設定によっても異なります。（p.30）

動画の記録サイズ

640（640×480）	テレビやパソコンの画面で動画を見るときに適しています。
320（320×240）	電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

撮影可能時間 15:02:26
記録サイズ 640
画質 320
フレームレート 30fps
カラーモード フルカラー
Movie SR ☑
撮影中のAF ☐
MENU 取消　OK 決定

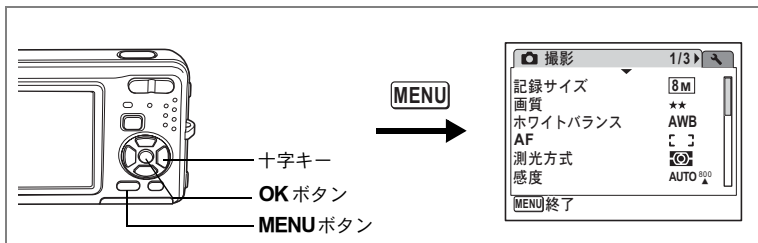
6　十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

7　OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

8　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

動画の画質を選択する

動画の画質を設定します。画質を大きい値に設定するほど鮮明な動画になりますが、ファイルサイズが増えます。

動画の画質

★★★	S.ファイン	↑	鮮明な画像になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
★★	ファイン	↕	
★	エコノミー	↓	粗い画像になりますが、ファイルサイズは小さくなります。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「画質」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

撮影可能時間 07:30:06
記録サイズ 640
画質 ★★★ ★★ ★
フレームレート
カラーモード
Movie SR
撮影中のAF
MENU 取消 OK 決定

6 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

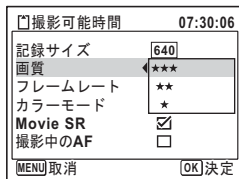
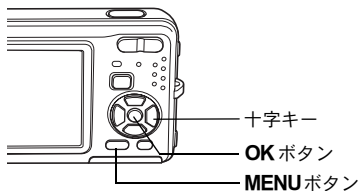
7 OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

4 撮影

フレームレートを選択する

動画のフレームレート（1秒間に撮る画面数）は、「30fps」（フレーム／秒）「15fps」（フレーム／秒）から選べます。「フレームレート」が大きいほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

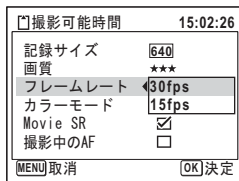
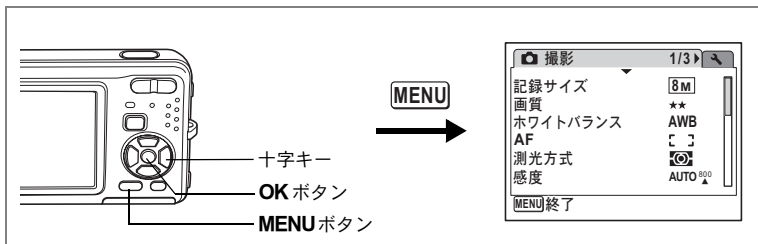
ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で「30fps」と「15fps」を切り替える

7 OKボタンを押す

フレームレートの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

白黒やセピア色で動画を撮影する（カラーモード）

動画撮影時には、カラーモードとして、「フルカラー」のほかに「白黒」と「セピア」が選べます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「カラーモード」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

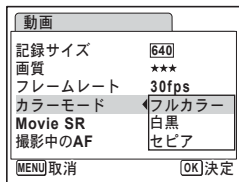
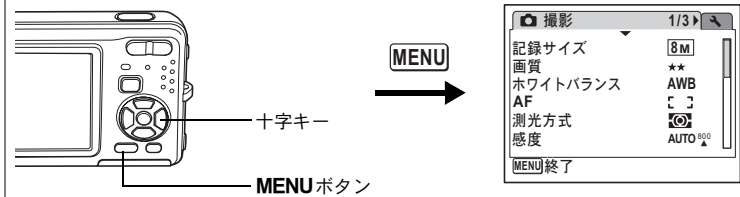
ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で色を選ぶ

7 OKボタンを押す

カラーモードの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影後の動画の「カラーモード」は、変更できません。

動画の手ぶれ補正を設定する（Movie SR）

🎥モードでは、Movie SR（動画手ぶれ補正機能）を使って動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

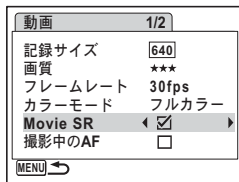
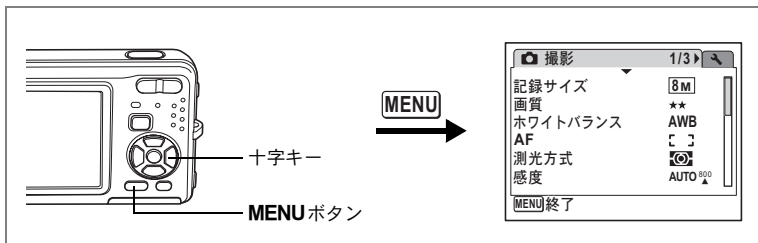
4　十字キー（▲▼）で「Movie SR」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で、☑（オン）／□（オフ）を切り替える

Movie SR（動画手ぶれ補正）の設定が保存されます。

6　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4 撮影

動画撮影時のピントの合わせ方を選ぶ

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。動画撮影中は常に被写体に合わせてピントを調整し続けるか、動画撮影前にシャッターボタンを半押しして被写体にピントが合うとその位置にピントをロックするかを選べます。

1　📷モードでMENUボタンを押す

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

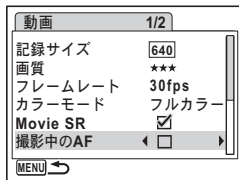
3　十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

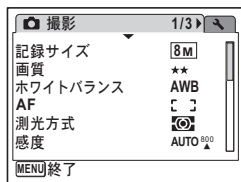
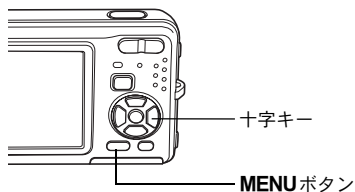
4　十字キー（▲▼）を押して「撮影中のAF」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

☑（オン）：動画撮影中は常に被写体にピントを合わせる

□（オフ）：動画撮影前にシャッターボタンを半押しして被写体にピントが合うとその位置にピントをロックする

6　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

「撮影中のAF」を☑（オン）に設定し、フォーカスモードを**PF**、▲以外を選択した場合、撮影環境によってはピント合わせ時の作動音が音声録音に入ることがあります。

光学ズームを設定する

動画撮影中に光学ズームを使うかどうかを設定することができます。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

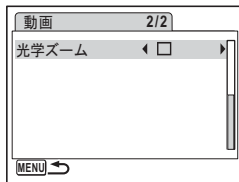
「動画」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「光学ズーム」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

光学ズームの設定が保存されます。

6　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

メモ　「光学ズーム」を☑（オン）に設定した場合、撮影環境によってはレンズ駆動の作動音が音声録音に入ることがあります。

4 撮影

再生する

◘モードと▶モードの切り替え

本書では、静止画の撮影など記録を行うモードを「◘モード」と表記します。また、撮影して記録した画像を液晶モニターに表示するなど再生を行うモードを「▶モード」と表記します。▶モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。
◘モードと▶モードの切り替えは、次のように行います。

◘モードから▶モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す

▶モードに切り替わります。

▶モードから◘モードへ切り替える

1　▶ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

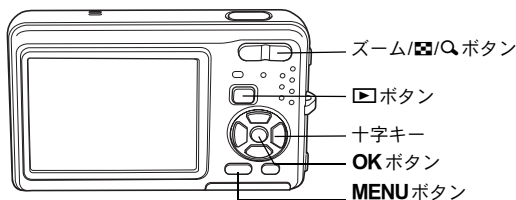
◘モードに切り替わります。

内蔵メモリー内のデータの表示について

SD メモリーカードがセットされているときは、SD メモリーカード内の画像、動画、音声が表示されます。内蔵メモリー内の画像、動画、音声を表示する場合は、SDメモリーカードを取り出してください。

- **[SDメモリーカードを入れたままで、内蔵メモリー内の画像を見る(内蔵メモリー参照)]**
- 撮影モードから再生モードに切り替えるとき、再生ボタンを1秒以上押し続けると、SDメモリーカードが挿入されていても、内蔵メモリー内の画像、動画、音声を表示することができます。
- 内蔵メモリー参照では、静止画再生（拡大表示も含む）（p.41、p.118）、動画再生（p.123)、音声再生（p.158)、9分割表示／フォルダ表示／カレンダー表示（p.117）を行うことができます。
- 内蔵メモリー参照では、データの消去、選択消去、再生モードパレットの表示、メニューの表示は行えません。内蔵メモリー内の画像、動画、音声にこれらの操作を行いたい場合は、SDメモリーカードを取り出してから行ってください。

静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」（p.41）をご覧ください。

9画面表示、フォルダ表示、カレンダー表示をする

9画面表示

複数の撮影画像を同時に9枚ずつ液晶モニターに表示させることができます。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

選択枠
① ②
🗑選択消去　100-0010

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印	：音声なしの静止画
(手ぶれ補正アイコン)	：手ぶれ補正処理可能な静止画
🎙（画像あり）	：音声付きの静止画
🎥	：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎙（画像なし）	：音声のみのファイル

ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。
▶ボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

フォルダ表示/カレンダー表示に切り替える

9画面表示でズーム/▦/🔍ボタンの▦ボタンを押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダ表示とカレンダー表示は、グリーンボタンで切り替えることができます。

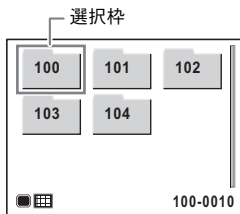
1 ▶モードで、ズーム/▦/🔍ボタンの▦を押す

画面が9画面表示に切り替わります。

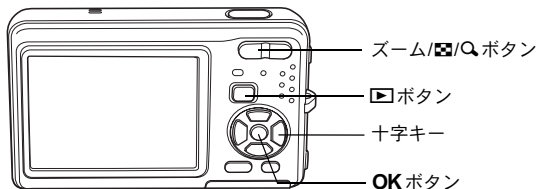
2 ズーム/▦/🔍ボタンの▦を押す

画面がフォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダ表示

画像や音声が記録されているフォルダが一覧表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
フォルダを選択してズーム/▦/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタンを押すと、フォルダ内の画像が9画面表示されます。

カレンダー表示

撮影した画像や録音した音声が、日付ごとにカレンダー形式で表示されます。
カレンダーの日付には、各日付で撮影された最初の画像が表示されます。
その日付で最初に記録されているのが音声だけのデータならば、🎙が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
日付を選択してズーム/▦/🔍ボタンの🔍を押すと、その日付に撮影した画像が9画面表示されます。
日付を選択して**OK**ボタンを押すと、その日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。

- フォルダ表示/カレンダー表示で**MENU**ボタンを押すと、通常の9画面表示に切り替わります。
- フォルダ表示 / カレンダー表示で ▶ ボタンまたはシャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

再生画像を拡大する

画像を再生する際、最大8倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

画面が大きく（1.1倍～8倍）表示されます。ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

ガイド表示

拡大表示中にできる操作

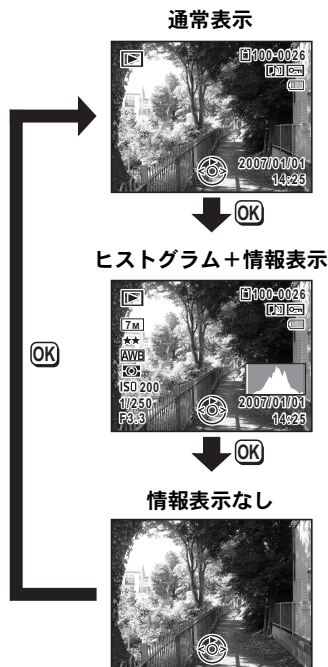
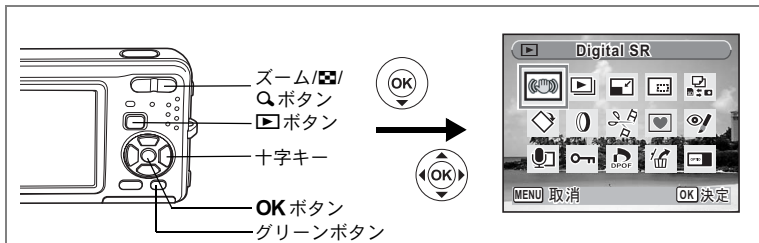
十字キー（▲▼◀▶）　拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン（🔍）　画像を拡大する（最大8倍まで）
ズーム/⊞/🔍ボタン（⊞）　画像を縮小する（最小1.1倍まで）

3　OKボタンを押す

1画面表示に戻ります。

- 動画は拡大表示できません。
- 液晶モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。

撮影時の情報を表示する

▶モード時にOK/DISPLAYボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示が切り替わります。
表示内容の詳細は、p.19をご覧ください。

撮影時に撮影情報を確認する ☞p.82

Digital SRで手ぶれを補正する

撮影した画像の手ぶれを補正します。

1　▶ モードに入り、十字キー（◀ ▶）でDigital SRで補正する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲ ▼ ◀ ▶）で （Digital SR）を選ぶ

4　OKボタンを押す

補正する画像が表示されます。
ズーム/⊞/Qボタンで画像の拡大／縮小できます。

5　グリーンボタンを押す

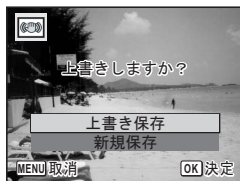
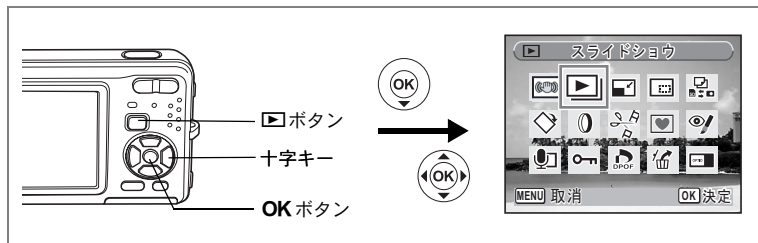
補正した画像が表示されます。
ズーム/⊞/Qボタンで画像の拡大／縮小できます。

6　OK ボタンを押します

7　十字キー（▲ ▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8　OKボタンを押します

補正画像が内蔵メモリーまたはSD メモリーカードに保存されます。

- 上書き保存をすると、ぶれ情報がなくなりますので、2度目のぶれ補正処理はできなくなります。
- 撮影した画像を手ぶれ補正できる場合のみ、画像再生時に が液晶モニター左上に表示されます。

スライドショウで連続再生する

保存された画像を連続して再生します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

4 OKボタンを2回押す

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中でOKボタンを押すと、一時停止します。一時停止中にOKボタンを押すと再開します。

5 OKボタン以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果／効果音を設定します。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

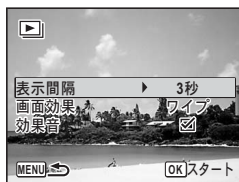
2 十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

3　OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「表示間隔」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6　十字キー（▲▼）で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

7　十字キー(▲▼)で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、引き続き十字キー（▶）を押すと、下記の選択できる内容がポップアップで表示されます。十字キー(▲▼)で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

オフ	切り替え効果なし
ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果

8　十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

9　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

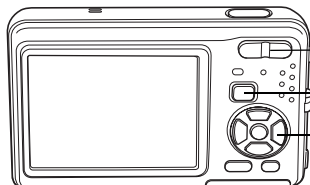
画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

10　OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

- スライドショウは、**OK**ボタン以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度でも繰り返します。
- 動画や音声付き画像は表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中や音声付き画像の音声再生中に十字キー（▶）を押すと、すぐに次の画像へ移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

AV機器と接続する ☞p.124

5 画像の再生と消去

動画を再生する

動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

1　▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

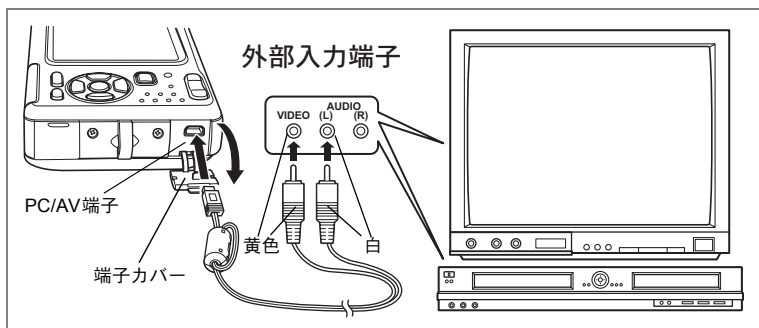
十字キー（◀）	逆方向に再生
十字キー（▲）	一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除（再生）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

AV機器と接続する

AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、PC/AV端子にAVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

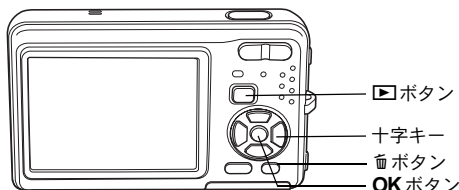
3　AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。

複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4　カメラの電源をオンにする

- 長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC63J（別売）の使用をおすすめします。
- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.173）
- AV機器に接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。
- AV 機器に接続している間は、カメラのズームボタンを使っての音量調整はできません。

消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

うっかり！必要な画像や音声を消してしまったら・・・
Optio Z10には、このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、復活させる機能があります。（p.130）
画像や音声を消去した後、SDメモリーカードを取り出さない限り電源をオフにしても復活させることは可能ですが、撮影、画像プロテクト、DPOF設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしてしまうと、消去した画像や音声は復活できません。

1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.131）

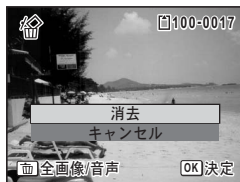
1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ

2 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

消去されます。

メモ
クイックビューが表示されている間に🗑ボタンを押すと手順2の画面が表示され、撮影したばかりの画像を消去できます。（p.42）

消去した画像を復活する ☞p.130

音声を消去する

音声付きの画像（p.159）の場合は、画像は消去せずに音声のみを消去することができます。

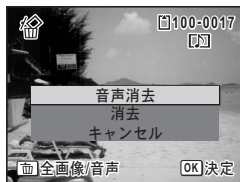
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で音声付きの画像を選ぶ

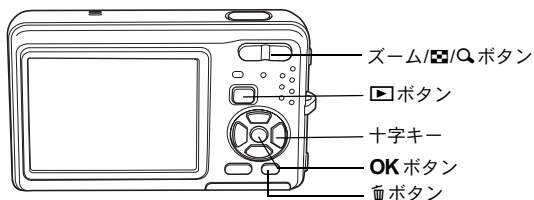
2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

音声が消去されます。

メモ　画像と音声の両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

5 画像の再生と消去

選択して消去する（9画面表示で消去）

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/Q ボタンの⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2 🗑ボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OK ボタンを押す

画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/Q ボタンのQを押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

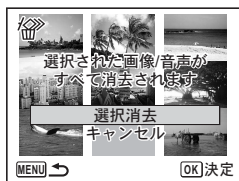
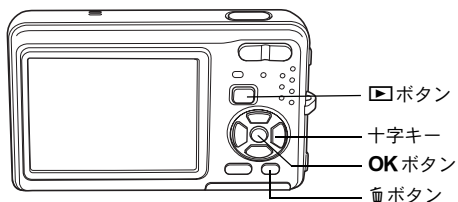
4 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6 OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

5
画像の再生と消去

まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。(p.131)

1 ▶モードで ボタンを押す

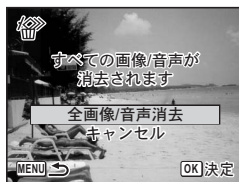
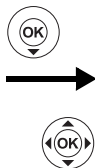
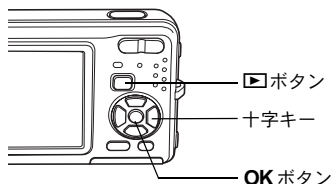
消去を確認する画面が表示されます。

2 ボタンを押す

すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で「全画像/音声消去」を選ぶ

4 OK ボタンを押す

すべての画像や音声が消去されます。

消去した画像を復活する ☞p.130

消去した画像を復活する

このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、いったん消去してしまっても元に戻すことができます。

画像を消去後、撮影、画像プロテクト、DPOF設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしたり、SDメモリーカードを取り出してしまうと、手順3で「処理できる画像がありません」のメッセージが表示され、消去した画像や音声の復活ができなくなってしまいます。

1　消去を実行した後に、十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

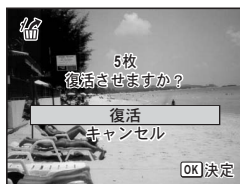
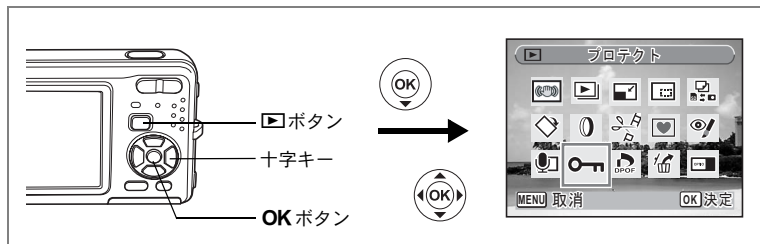
2　十字キー（▲▼◀▶）で（削除画像復活）を選ぶ

3　OKボタンを押す

復活可能な画像の枚数が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「復活」を選ぶ

5　OKボタンを押す

画像の消去が取り消され、元に戻ります。

- 復活させた画像や音声は、消去する前と同じファイル名になります。
- 削除画像の復活ができるのは、最大で999枚までです。

消去できないようにする（プロテクト）

記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す
再生モードパレットが表示されます。

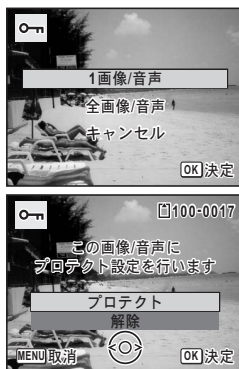
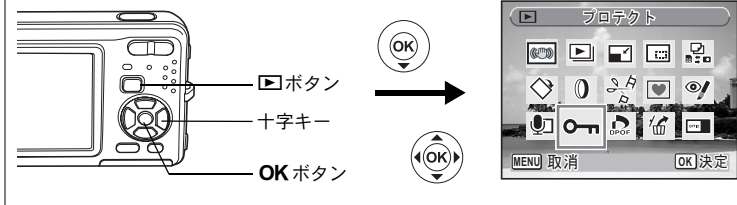
2　十字キー（▲▼◀▶）で🔑（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す
「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す
「この画像/音声にプロテクト設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像または音声をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像または音声を選びます。

6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す
選択した画像または音声がプロテクトされます。

- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下に🔑が表示されます。
- 「1画像/音声」のプロテクトを行う場合、続けてプロテクトできる画像や音声の数は99個までです。

すべての画像と音声をプロテクトするには

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でО╖（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「全画像/音声」を選ぶ

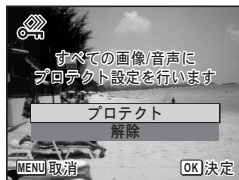
5　OKボタンを押す

「プロテクト」または「解除」を選択する画面が表示されます。

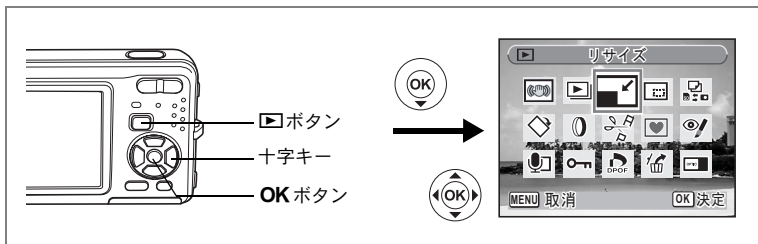
すべての画像/音声に
プロテクト設定を行います
プロテクト
解除
MENU 取消
OK 決定

6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す

すべての画像と音声がプロテクトされます。

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。

- 手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

編集する

画像のサイズと画質を変更する（リサイズ）

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。

- 動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。

5　「記録サイズ」と「画質」を選択する

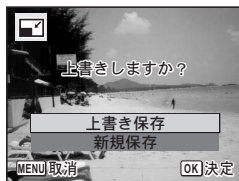
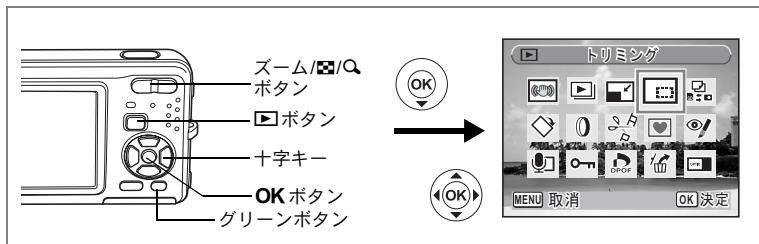
それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

6 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OK ボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

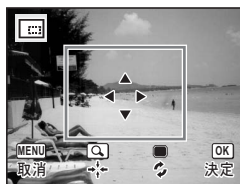
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ

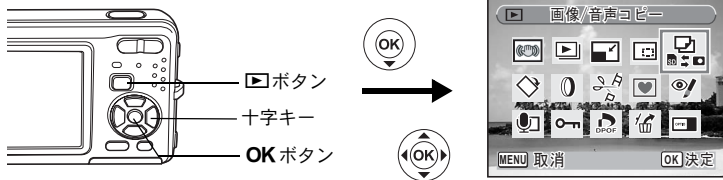
4　OK ボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。

5　トリミング条件を選ぶ

ズーム/⊞/Q ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を移動する
グリーンボタン	トリミング範囲を回転する

6　OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

動画はトリミングできません。

画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

4　十字キー（▲▼）を押して「●➡SD」を選ぶ

5　OK ボタンを押す

すべての画像と音声がコピーされます。

6 画像の編集と印刷

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

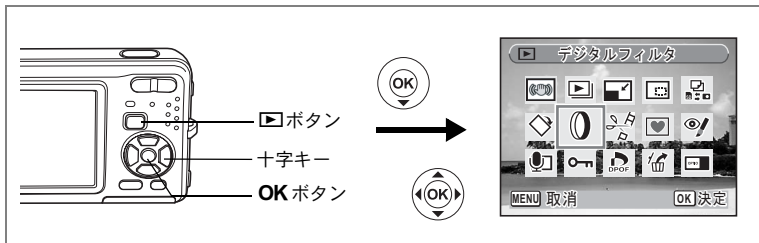
4　十字キー（▲▼）を押して「SD➡内蔵メモリー」を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7　OKボタンを押す

選択した画像／音声がコピーされます。

- 音声付きの画像は、音声付きのままコピーされます。
- SD メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。

デジタルフィルタを使う

選択した画像に対して、色調を変えたり特殊な加工を施します。

デジタルフィルタ

白黒／セピアフィルタ	選択したフィルタをかけた画像にします。 白黒：セピアの2種類のフィルタがあります。
カラーフィルタ	選択したカラーフィルタをかけた画像にします。赤、桃、紫、青、緑、黄の6種類のフィルタがあります。
色抽出フィルタ	選択した色抽出フィルタをかけた画像にします。赤、緑、青の3種類のフィルタがあります。
ソフトフィルタ	全体にぼかしたような、ソフトな画像に加工します。
フィッシュアイフィルタ	フィッシュアイ（魚眼レンズ）で撮ったような効果を画像に施します。
明るさフィルタ	選択した画像の明るさを調整します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

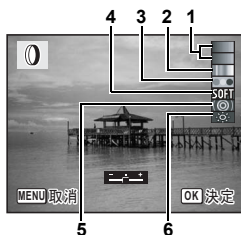
再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で◐（デジタルフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

デジタルフィルタを選択する画面が表示されます。

1 白黒/セピアフィルタ
2 カラーフィルタ
3 色抽出フィルタ
4 ソフトフィルタ
5 フィッシュアイフィルタ
6 明るさフィルタ

6 画像の編集と印刷

白黒／セピアフィルタ、ソフトフィルタを選んだ場合

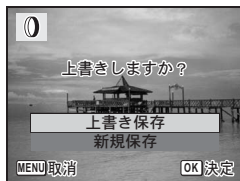
5　十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

フィルタに応じた加工結果をプレビューできます。

6　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8　OKボタンを押す

白黒/セピアフィルタ、ソフトフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

カラーフィルタ、色抽出フィルタを選んだ場合

5　十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

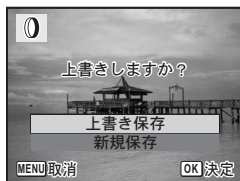
6　十字キー（◀▶）で効果を調整する

色抽出フィルタの場合は、十字キー（▶）を押すごとに、「緑」→「青」→「赤」の順に切り替わります。

7　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

9　OKボタンを押す

カラーフィルタ、色抽出フィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

フィッシュアイフィルタ、明るさフィルタを選んだ場合

5　十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

十字キー（◀▶）で効果を調整する
フィッシュアイフィルタの場合は、十字キー（▶）で効果が強まり、十字キー（◀）で効果が弱まります。明るさフィルタの場合は、十字キー（▶）で明るく、十字キー（◀）で暗くなります。

6　OK ボタンを押す

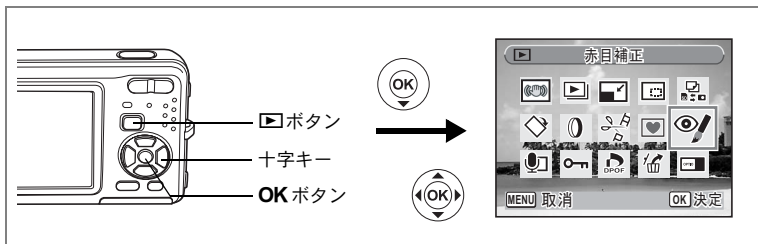
上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

8　OK ボタンを押す

フィッシュアイフィルタ明るさフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

動画や他のカメラで撮影した画像は「デジタルフィルタ」を使って加工できません。再生モードパレットで機能を選択して**OK** ボタンを押すと、エラーメッセージが表示されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（赤目補正）を選ぶ

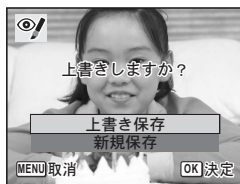
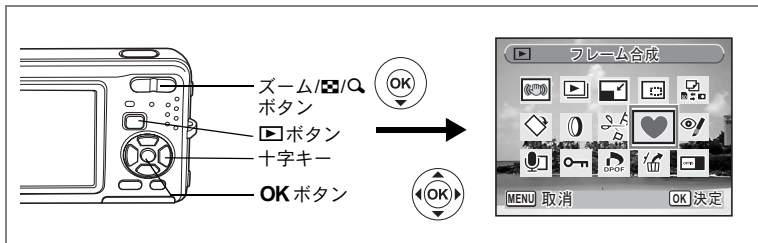
4 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

6 OK ボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画やカメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

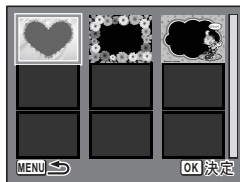
2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

フレーム選択の9分割画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

6　OK ボタンまたはズーム/⊞/Q ボタンのQを押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

- 十字キー(◀▶)を押して別のフレームを選択する
- **MENU**ボタンまたはズーム/⊞/Qボタンの⊞を押して、フレーム選択の9分割画面に戻り、手順5と同様の操作で別のフレームを選択する

7 OKボタンを押す

画像の位置調整、拡大／縮小を行う画面が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像の位置を調整、ズーム/⊞/🔍ボタンで画像の拡大／縮小をすることができます。

8 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

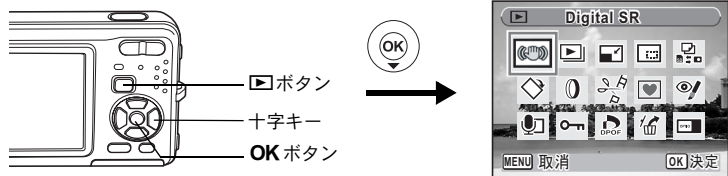
10 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

動画や2M以下のサイズの画像は「フレーム合成」をできません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを使う

ホームページなどから入手したフレームを使用してフレーム合成することができます。手順3で♥（フレーム合成）を選んで**OK**ボタンを押すと、内蔵メモリーとSDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

- あらかじめ内蔵メモリー内に登録されている3種類のフレームは削除することができません。
- ダウンロードして新しく入手したフレームは、最大96種類まで表示することができますので、内蔵メモリーに登録されている3種類のフレームと合わせ、99種類から選択することができます。
- ダウンロードしたフレームは解凍して、内蔵メモリーやSDメモリーカードのFRAMEフォルダにコピーしてください。
- 内蔵メモリーやSDメモリーカードを本機でフォーマットするとFRAMEフォルダが作成されますので、その中にコピーしてください。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割、結合したりすることができます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する動画を選ぶ

「動画結合」(p.147) をする場合は、前半部分となる動画を選択します。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

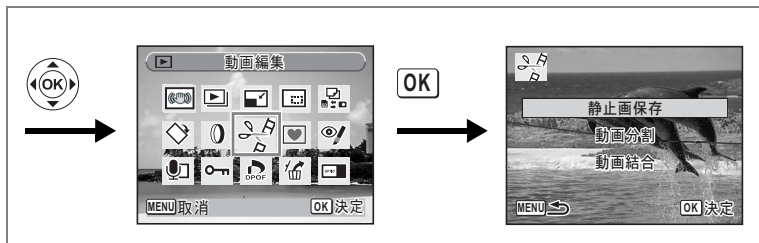
3　十字キー（▲▼◀▶）で✂（動画編集）を選ぶ

4　OKボタンを押す

動画編集を選択する画面が表示されます。
続けて以下のページに進んでください。

- 「動画の1コマを静止画として保存する」（p.145）
- 「動画を分割する」（p.146）
- 「動画を結合する」（p.147）

プロテクトされている動画は「動画分割」、「動画結合」をすることができません。

6 画像の編集と印刷

動画の1コマを静止画として保存する

5　動画編集を選択する画面で、「静止画保存」を選ぶ

6　OK ボタンを押す

静止画として保存するコマを選択する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼◀▶）を押して保存するコマを選ぶ

▲　：再生する、一時停止する

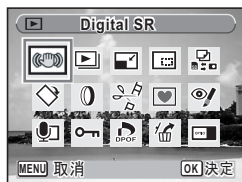
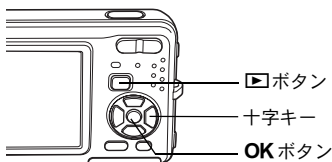
▼　：停止して最初のコマに戻る

◀　：コマ戻しする

▶　：コマ送りする

8　OK ボタンを押す

選択したコマが静止画として保存されます。

動画編集メニュー画面の呼び出しかた

動画を分割する

5　動画編集を選択する画面で、「動画分割」を選ぶ

6　OKボタンを押す

分割位置を選択する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼◀▶）を押して分割位置を決める

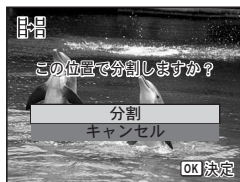
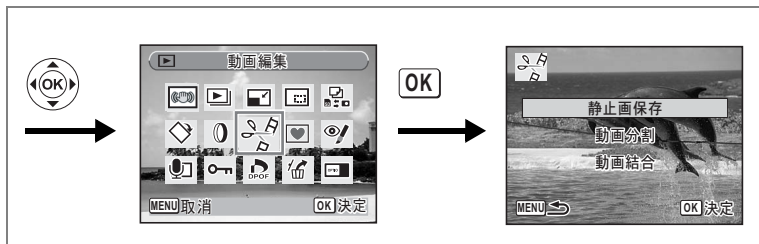
▲　：再生する、一時停止する
▼　：停止して最初のコマに戻る
◀　：コマ戻しする
▶　：コマ送りする

8　OKボタンを押す

分割位置を確認する画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「分割」を選ぶ

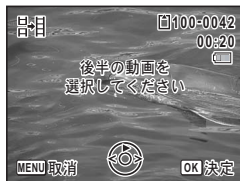
10　OKボタンを押す

指定位置で分割した動画がそれぞれ新しいファイルに保存され、元の動画は削除されます。

動画を結合する

5　動画編集を選択する画面で、「動画結合」を選ぶ

6　OKボタンを押す

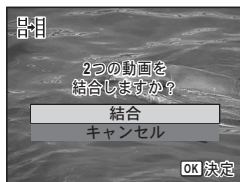
結合する動画を選択する画面が表示されます。

7　十字キー（◀▶）で後半部分となる動画を選ぶ

8　OKボタンを押す

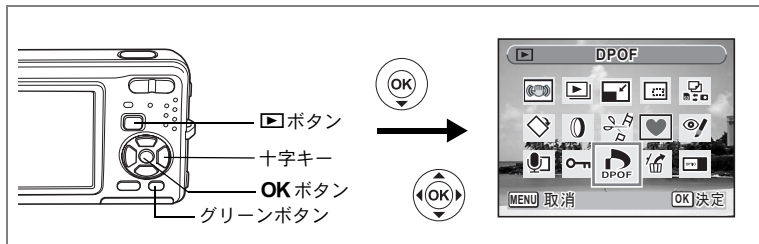
結合を確認する画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「結合」を選ぶ

10　OKボタンを押す

選択した2つの動画が結合され、前半部の動画ファイルに上書き保存されます。

- 結合した動画を再生すると、結合部分が1秒ほど止まって見えることがあります。「動画編集」機能では動画データを1秒単位で操作するため、前半部分の最後のコマが1秒に満たない場合は1秒分に引き伸ばされて後半部分の動画と結合されるためです。
- 2つの動画を結合すると、後半部の動画ファイルは消去されます。

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付	プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（DPOF）を選ぶ

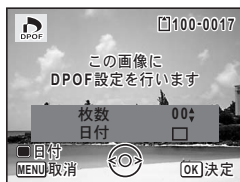
3　OK ボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

6
画像の編集と印刷

5 OKボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。
別の画像にDPOF設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

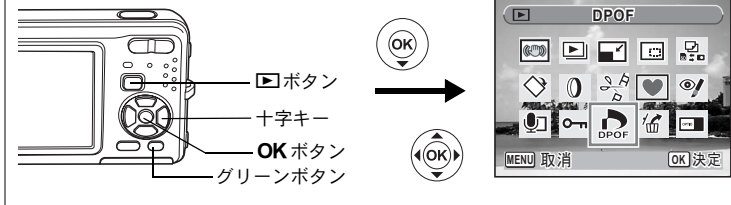
7 グリーンボタンを押し、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6、7を繰り返します。

8 OKボタンを押す

DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。

プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。

DPOF設定を解除するには、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK**ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

1 ▶モードでDPOFの設定をする画面を表示する

p.148の手順1～3をご覧ください。

2 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

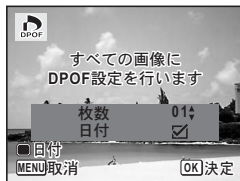
3 OK ボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。

4 プリント枚数、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6、7（p.149）をご覧ください。

5 OK ボタンを押す

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC63Jのご使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1 枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する

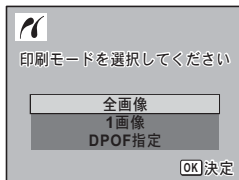
「USB接続モードを変更する」（p.172）をご覧ください。

2 カメラの電源をオフにする

3 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続する

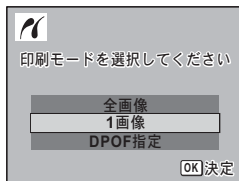
4 プリンターの電源をオンにする

5 プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「1画像」を選ぶ

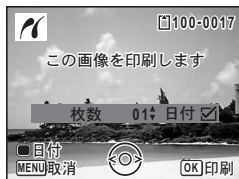
2　OKボタンを押す

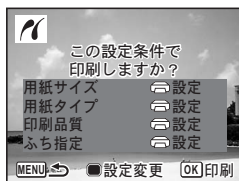
印刷条件を設定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

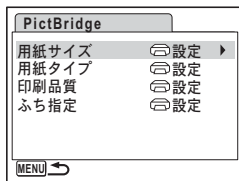
5　グリーンボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

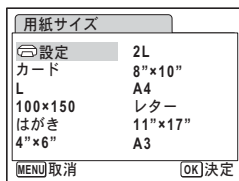
☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OK ボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

11 十字キー (▲▼) で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OK ボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。
それぞれの 設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。
各項目の設定が終了するごとに、印刷設定を確認する画面が表示されます。

13 MENU ボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

14 OK ボタンを押す

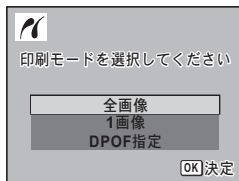
設定した値で印刷が開始されます。
MENU ボタンを押すと、印刷を中止します。

- プリンターと通信中は電源ランプが点灯、カードアクセス中、プリント中は電源ランプが点滅してお知らせします。電源ランプ点滅中は、USBケーブルを取り外さないでください。
- 「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

プリンターからケーブルを取り外す ☞p.155

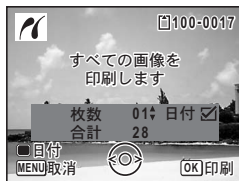
6 画像の編集と印刷

全画像をプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

3　プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.152）をご覧ください。

4　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.152～p.153）をご覧ください。

5　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

DPOFの設定でプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.148をご覧ください。

3　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.152～p.153）をご覧ください。

4　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

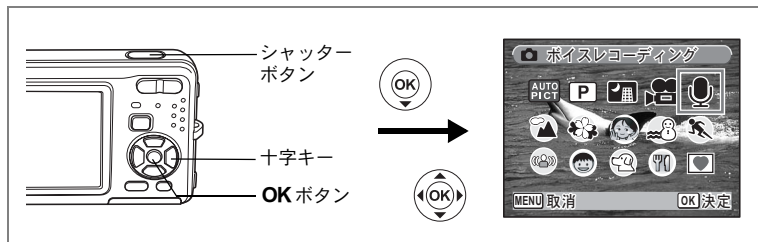
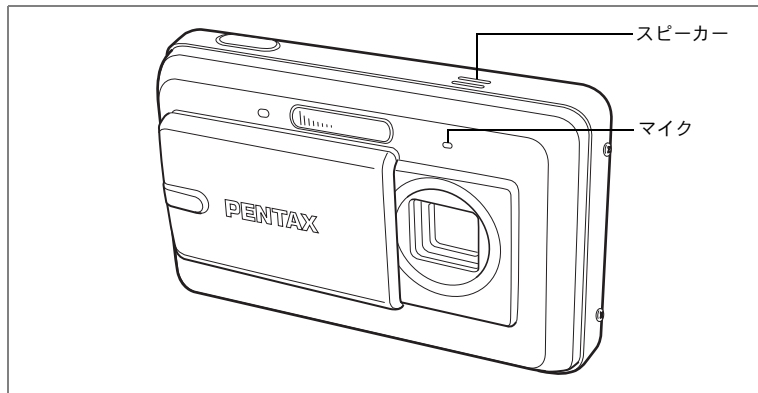
プリンターからケーブルを取り外す

プリントが終了したら、USBケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラとプリンターからUSBケーブルを取り外す

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。マイクはカメラ正面にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスレコーディング）を選ぶ

3 OK ボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間
2 残り録音可能時間

4 シャッターボタンを全押しする

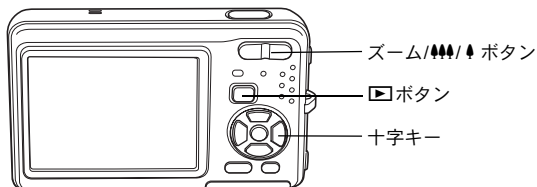
録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプが点滅します。
録音は連続で24時間まで可能です。
録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

録音を停止します。

- 手順4で1秒以上シャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。「サウンド」設定のUSER音を作成する場合など、短い音を録音したいときに便利です。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- **OK** ボタンを押すと、液晶モニターの表示を消すことができます。もう一度 **OK** ボタンを押すと、再表示します。

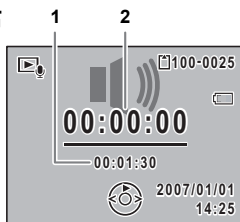
音声を再生する

🎙モードで録音した音声を再生します。

1　[▶]ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

録音を再生します。

1 ファイルの総録音時間
2 再生済時間

1　2
100-0025
00:00:00
00:01:30
2007/01/01
14:25

再生中にできる操作

十字キー（▲）	再生を一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	巻き戻し
十字キー（▶）	早送り
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）	次のインデックス位置から再生

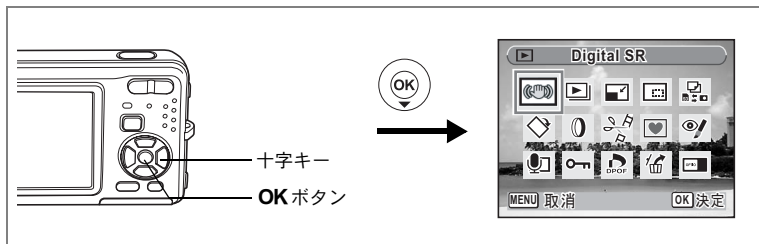
一時停止中にできる操作

十字キー（▲）	再生を再開
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る

4　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した静止画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。

ボイスメモを録音する

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で 🎙（ボイスメモ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

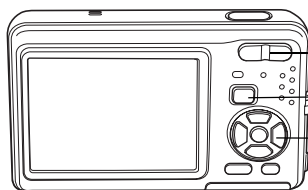
ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモは連続で24時間まで録音できます。

5　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- すでにボイスメモが録音されている画像やピクチャーボイスモードで撮影された画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったん音声を消去してから、もう一度録音してください。（p.126）
- プロテクト（O╥）されている画像（p.131）にボイスメモを付けることはできません。

7

音声の録音と再生

ボイスメモを再生する

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

ボイスメモが録音されている画像は、1画面表示時に♪が表示されます。

2 十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

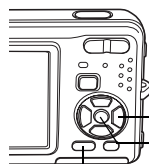
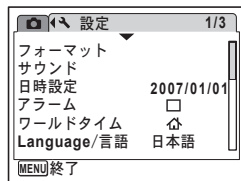
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）　音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）音量を小さくする

3 十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

ピクチャーボイスモードで撮影した画像の音声も、同様の操作で再生できます。

音声を消去する ☞p.126

カメラの設定をする

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。

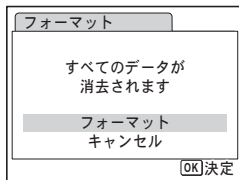
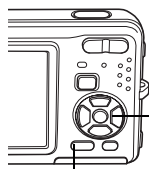
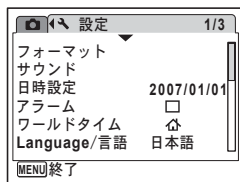
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

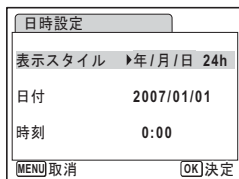
4 OK ボタンを押す

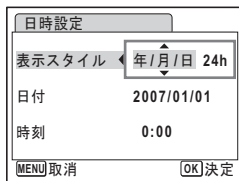
フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影モードまたは再生モードに戻ります。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

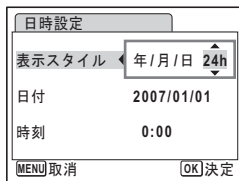
「日時設定」画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や、前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」で表示されていることもあります。

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

5 十字キー（▶）を押す

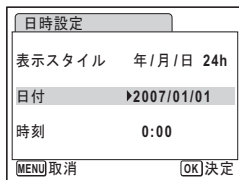
選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

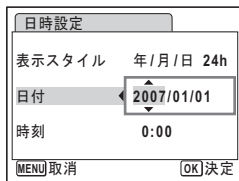
8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　▶2007/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

9 十字キー（▶）を押す

手順４で設定した表示スタイルにしたがって、選択枠が下記の項目に移動します。

「年/月/日」の場合　西暦年（例:「2007」年）
「月/日/年」の場合　月（例：「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例：「01」日）

以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

11 十字キー（▶）を押す

選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で、日を設定します。

12 手順7～10と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

13 OKボタンを押す

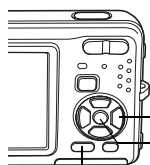
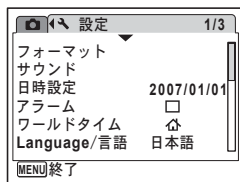
日時の設定が保存されます。

- 日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OK ボタン
MENU ボタン

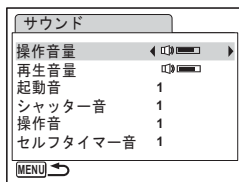
MENU → OK

設定 1/3
フォーマット
サウンド
日時設定 2007/01/01
アラーム
ワールドタイム
Language/言語 日本語
MENU 終了

サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。

操作音量／再生音量を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「操作音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

選んだ音量が保存されます。
音量を0にすると起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

5 手順3、4と同様の操作で「再生音量」を設定する

音の種類を変更する

6 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

7 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

8 十字キー(▲▼)で「1」「2」「3」「オフ」「USER」のいずれかを選び、OKボタンを押す

選んだ音の種類が保存されます。

9 手順6～8と同様の操作で「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を設定する

10 MENUボタンを押す

変更した設定のまま、「🔧設定」メニューに戻ります。

USER音を設定する

任意の音声の冒頭の2秒間をUSER音として起動音やシャッター音に使用できます。使用する音声はカメラで録音しておきます。(p.156)

1 前項の手順8、9で「USER」を選ぶ

2 OKボタンを押す

カメラに「USER」音として設定できる音声が記録されている場合、再生画面が表示されます。USER設定されている音声には「USER」と表示されます。

3 十字キー(◀▶)でファイルを選ぶ

十字キー(▲)　冒頭の2秒間を再生
十字キー(▼)　再生終了

4 OKボタンを押す

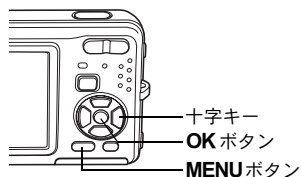
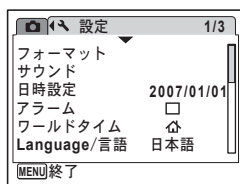
選んだ音声が、起動音やシャッター音の「USER」音として設定されます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OK ボタン
MENU ボタン

MENU →

OK

🔧 設定 1/3
フォーマット
サウンド
日時設定 2007/01/01
アラーム □
ワールドタイム
Language/言語 日本語
MENU 終了

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らします。
毎日同じ時刻にアラームを鳴らすか、設定した時刻に1回アラームを鳴らすかを選ぶことができます。

アラームを設定する

1 **「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ**

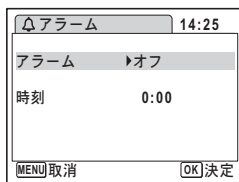
2 **十字キー（▶）を押す**
「アラーム」画面が表示されます。

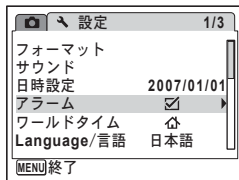
3 **十字キー（▶）を押す**
ポップアップが表示されます。

4 **十字キー（▲▼）で「オフ」「1回」「毎日」のいずれかを選び、OK ボタンを押す**

5 **十字キー（▼）を押す**
続いて「時刻」を設定します。

6 **十字キー（▶）を押す**
選択枠が「時間」に移動します。

7 **十字キー（▲▼）で時間を設定し、十字キー（▶）を押す**
選択枠が「分」に移動します。
同様に「分」を設定します。

8 OKボタンを2回押す

設定が保存され、「🔧設定」メニューに戻ります。
「アラーム」が☑（オン）になっていることを確認します。

9 OKボタンを押す

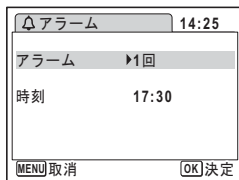
「アラームを設定しました」と表示された後電源がオフになります。

アラームを確認する

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

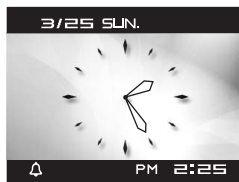
「アラーム」が☑（オン）になっていることを確認します。

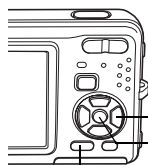
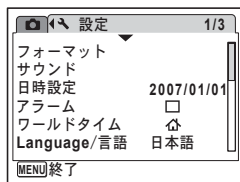
2 十字キー（▶）を押す

「アラーム」画面が表示されます。
アラームの頻度と設定時刻を確認します。

3 MENUボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

アラームを止める

電源オフの状態で指定した時刻になると、スタイルウォッチ画面が表示され、アラームが1分間鳴ります。
1分間経過するか、鳴っている間にどれかのボタンを押すと、アラームは停止します。

- カメラの電源がオンになっている場合は、指定した時刻になってもアラームは鳴りません。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.36）や「日時を変更する」(p.162）で設定した日時は、⌂（現在地）の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用するとき、液晶モニターに✈（目的地）として設定した国や地域の日時を表示できます。

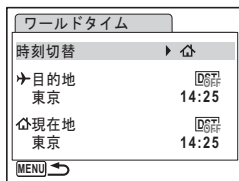
目的地を設定する

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ワールドタイム」を選ぶ

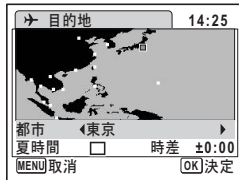
2 十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で✈(目的地)を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST OFF
東京 14:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU

4 十字キー（▶）を押す

「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

5 十字キー（◀▶）で、目的地都市名を選ぶ

選択した都市の現在時刻、位置、時差が表示されます。

6 十字キー（▲▼）で「夏時間」を選ぶ

7 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、☑（オン）にします。

8 OKボタンを押す

目的地の設定が保存されます。

9 MENUボタンを2回押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

p.168の手順3で⌂（現在地）を選ぶと現在地の都市や夏時間を設定できます。

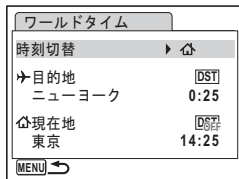
目的地の日時をカメラに表示させる（時刻切替）

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

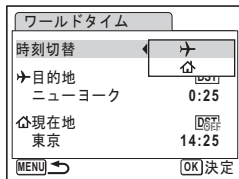
「ワールドタイム」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「時刻切替」を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST
ニューヨーク 0:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU ↩

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5 十字キー（▲▼）で✈（目的地）／⌂（現在地）を切り替える

✈ ：目的地で選択した都市の時刻を表示
⌂：現在地で選択した都市の時刻を表示

6 OKボタンを押す

時刻切替の設定が保存されます。

7 MENUボタンを2回押す

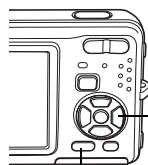
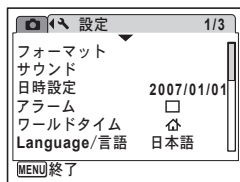
📷モードまたは▶モードに戻ります。
📷モードに戻ったとき、ワールドタイムに切り替えた場合は、✈（目的地）アイコンが表示されます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

十字キー

MENUボタン

MENU

🔧 設定 1/3
フォーマット
サウンド
日時設定 2007/01/01
アラーム
ワールドタイム
Language/言語 日本語
MENU終了

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／オランダ語／デンマーク語／スウェーデン語／フィンランド語／ポーランド語／チェコ語／ハンガリー語／トルコ語／ロシア語／タイ語／日本語の17言語に対応しています。

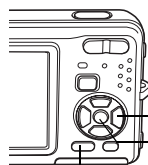
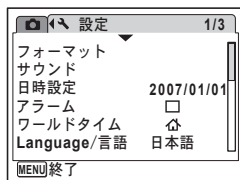
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

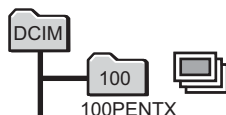
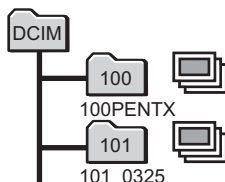
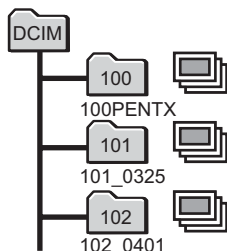
3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

4 OKボタンを押す

選んだ言語で表示するように設定されます。

画像のフォルダ名を変更する

画像のフォルダ名を、標準と日付で変更できます。日付に設定すると写真は撮影日ごとに違うフォルダに保存されます。

フォルダ名

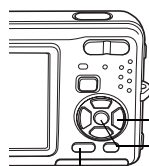
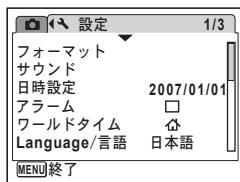
標準	xxxPENTX（xxxは3桁のフォルダ番号）
日付	xxx_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） ※日付の表示スタイルが「日／月／年」に設定されている場合は、xxx_ddmm（3桁のフォルダ番号_日月）になります。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォルダ名」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「標準」「日付」を切り替える

4 OK ボタンを押す

フォルダ名の設定が保存されます。

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続モードを切り替えます。

パソコンとの接続については、別紙の『PC接続ガイド』をご覧ください。

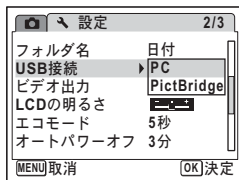
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

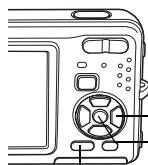
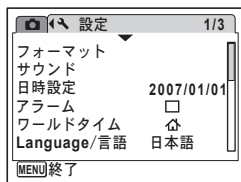
3 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

「PC」：パソコンに画像を転送する場合に選択

「PictBridge」：PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択

4 OKボタンを押す

USBモードの設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

8 設定

ビデオ出力方式を選択する

AV機器と接続して撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ビデオ出力」を選ぶ

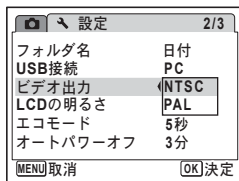
2 十字キー（▶）を押す

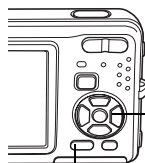
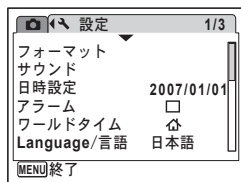
ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。

4 OKボタンを押す

ビデオ出力方式の設定が保存されます。

国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.124

液晶モニターの明るさを設定する

液晶モニターの明るさを設定できます。

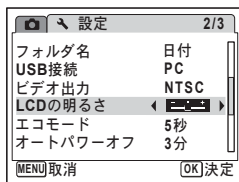
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

下記の設定で保存されます。

（暗）
（標準）
（明）

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。
液晶モニターは、設定した明るさで表示されます。明るさを設定し直す場合は、再度同様の操作を行ってください。

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、液晶モニターの明るさが自動的に暗くなるように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「エコモード」を選ぶ

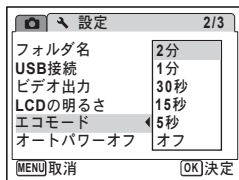
2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

設定 2/3
フォルダ名
USB接続
ビデオ出力
LCDの明るさ
エコモード
オートパワーオフ
2分
1分
30秒
15秒
5秒
オフ
MENU 取消 OK 決定

3 十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4 OK ボタンを押す

エコモードの設定が保存されます。

以下の場合は、エコモードにはなりません。

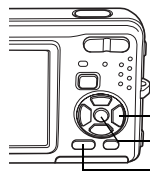
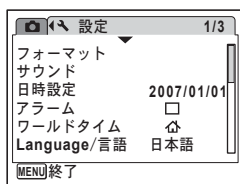
- 連続撮影／高速連写で撮影中
- 再生モード中
- パソコン／プリンター接続中
- ACアダプター使用時
- 動画撮影中
- メニュー表示中

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OK ボタン
MENU ボタン

MENU

OK

🔧 設定 1/3
フォーマット
サウンド
日時設定 2007/01/01
アラーム □
ワールドタイム ⌂
Language/言語 日本語
MENU 終了

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

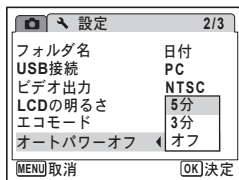
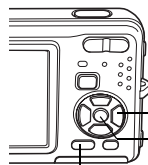
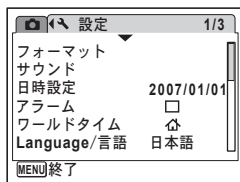
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える

4 OK ボタンを押す

オートパワーオフの設定が保存されます。

以下の場合は、オートパワーオフ機能が作動しません。
- ボイスレコーディングモードで録音中
- 連続撮影／高速連写で撮影中
- 動画撮影中
- 音声再生中
- スライドショウ／動画再生中
- パソコン／プリンター接続中

ガイド表示を設定する

撮影モードパレット(p.53)や再生モードパレット(p.60)でモードを選んだときのモードの説明を表示させるか、させないかを選ぶことができます。

1 「設定」メニューで、十字キー(▲▼)を押して「ガイド表示」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

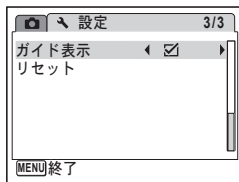
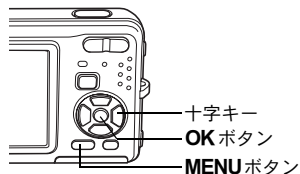
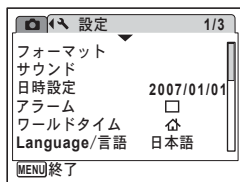
☑（オン）：説明を表示させる
□（オフ）：説明を表示させない

3 MENUボタンを押す

モードまたは モードに戻ります。設定を変更する場合は、再度同様の操作を行ってください。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

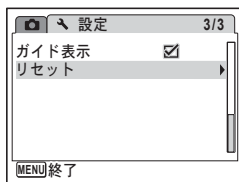
十字キー
OKボタン
MENUボタン
MENU

🔧 設定 1/3
フォーマット
サウンド
日時設定 2007/01/01
アラーム
ワールドタイム
Language/言語 日本語
MENU終了

設定をリセットする

カメラの設定内容をご購入時の状態に戻します。リセット項目については「初期設定一覧」(p.182)をご覧ください。

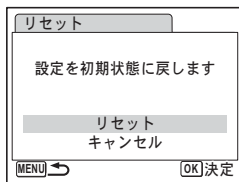
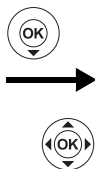
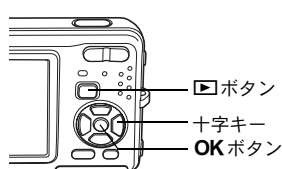
1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「リセット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

設定がリセットされます。

メモ

以下の設定はリセット前のまま保存されます。
日時設定、Language/言語、ワールドタイム、ビデオ出力

起動画面を変更する

カメラの電源をオンにしたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

1 ▶ボタンを押す

▶モードに入ります。

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で OPTIO（起動画面設定）を選ぶ

4 OK ボタンを押す

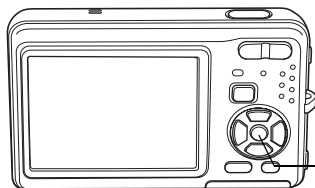
起動画面を選択するための画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

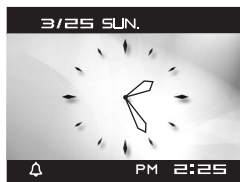
6 OK ボタンを押す

起動画面の設定が保存されます。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- 「オフ」を選ぶと起動画面が表示されなくなります。

スタイルウォッチを使う

カメラを時計のように使うことができます。電源がオフのときに**OK**ボタンを長押しすると、液晶モニターに時計を表示します。

1　OK ボタンを長押しする

電源がオンになり、画面に時計が表示されます。
約10秒経過すると、自動的に電源がオフになります。

都市名一覧

都市名：「初期設定」（p.34）やワールドタイム（p.168）で設定できる都市です。
ビデオ出力方式：「初期設定」で設定した都市のビデオ出力方式です。

地域	都市名	ビデオ出力方式
北米	ホノルル	NTSC
	アンカレジ	NTSC
	バンクーバー	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC
	ロサンゼルス	NTSC
	カルガリー	NTSC
	デンバー	NTSC
	シカゴ	NTSC
	マイアミ	NTSC
	トロント	NTSC
	ニューヨーク	NTSC
	ハリファックス	NTSC
中南米	メキシコシティ	NTSC
	リマ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC
	カラカス	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL
	サンパウロ	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC
ヨーロッパ	リスボン	PAL
	マドリード	PAL
	ロンドン	PAL
	パリ	PAL
	アムステルダム	PAL
	ミラノ	PAL
	ローマ	PAL
	コペンハーゲン	PAL
	ベルリン	PAL
	プラハ	PAL
	ストックホルム	PAL
	ブダペスト	PAL
	ワルシャワ	PAL
	アテネ	PAL
	ヘルシンキ	PAL
	モスクワ	PAL
アフリカ・西アジア	ダカール	PAL
	アルジェ	PAL
	ヨハネスブルグ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力方式
アフリカ・西アジア	イスタンブール	PAL
	カイロ	PAL
	エルサレム	PAL
	ナイロビ	PAL
	ジッダ	PAL
	テヘラン	PAL
	ドバイ	PAL
	カラチ	PAL
	カブール	PAL
	マーレ	PAL
	デリー	PAL
	コロンボ	PAL
	カトマンズ	PAL
	ダッカ	PAL
東アジア	ヤンゴン	NTSC
	バンコク	PAL
	クアラルンプール	PAL
	ビエンチャン	PAL
	シンガポール	PAL
	プノンペン	PAL
	ホーチミン	PAL
	ジャカルタ	PAL
	香港	PAL
	北京	PAL
	上海	PAL
	マニラ	NTSC
	台北	NTSC
	ソウル	NTSC
	東京	NTSC
	グアム	NTSC
オセアニア	パース	PAL
	アデレード	PAL
	シドニー	PAL
	ヌーメア	PAL
	ウェリントン	PAL
	オークランド	PAL
	パゴパゴ	NTSC

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」（p.104）の設定による。

リセット設定

する　：リセット（p.178）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		8M（3264×2448）	する	する	p.88
画質		★★（ファイン）	する	する	p.90
ホワイトバランス		AWB（オート）	※	する	p.91
AF	AFエリア	[ ]（マルチ）	する	する	p.97
	フォーカスリミット	□（オフ）	する	する	p.98
測光方式		（分割）	※	する	p.93
感度		AUTO800（64~800）	※	する	p.95
露出補正		±0.0	※	する	p.81
動画	記録サイズ	640（640×480）	する	する	p.108
	画質	★★★（S.ファイン）	する	する	p.109
	フレームレート	30fps	する	する	p.110
	カラーモード	フルカラー	する	する	p.111
	Movie SR	☑（オン）	する	する	p.112
	動画中のAF	□（オフ）	する	する	p.113
	光学ズーム	□（オフ）	する	する	p.114
デジタルワイド		☑（オン）	する	する	p.80
デジタルズーム		☑（オン）	※	する	p.76
クイックビュー		1秒	する	する	p.99

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ストロボモード	☑（オン）	する	する	p.86
	ドライブモード	□（オフ）	する	する	p.73、p.74
	フォーカスモード	□（オフ）	する	する	p.84
	ズーム位置	□（オフ）	する	する	p.75
	MF位置	□（オフ）	する	する	p.85
	ホワイトバランス	□（オフ）	する	する	p.91
	感度	□（オフ）	する	する	p.95
	露出補正	□（オフ）	する	する	p.81
	測光方式	□（オフ）	する	する	p.93
	デジタルズーム	☑（オン）	する	する	p.76
	DISPLAY	□（オフ）	する	する	p.82、p.119
	ファイルNo.	☑（オン）	する	する	—
グリーンボタン		グリーンモード	する	する	p.57
グリーンボタン（設定値）	グリーンモード	—	—	—	p.57
	Fn設定	「静止画」 ▲：露出補正 ▼：記録サイズ ◀：画質 ▶：ホワイトバランス 「動画」 ▲：Movie SR ▼：露出補正 ◀：記録サイズ ▶：画質	する	する	p.58
シャープネス		（標準）	する	する	p.100
彩度		（標準）	する	する	p.101
コントラスト		（標準）	する	する	p.102
日付写し込み		□（オフ）	する	する	p.103

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	操作音量	3	する	する	p.164
	再生音量	3	する	する	
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	1	する	する	
日時設定	表示スタイル（日付）	初期設定による	する	しない	p.36
	表示スタイル（時間）	24h	する	しない	
	日付	2007/1/1	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
アラーム	アラーム	□（オフ）	する	する	p.166
	時刻	0:00	する	する	
ワールドタイム	ワールドタイム	⌂（現在地）	する	する	p.168
	目的地（都市）	初期設定による	する	しない	
	目的地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.34
フォルダ名		日付	する	する	p.171
USB接続		PC	する	する	p.172
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.173
LCDの明るさ		−‥■‥+	する	する	p.174
エコモード		5秒	する	する	p.175
オートパワーオフ		3分	する	する	p.176
ガイド表示		☑（オン）	する	する	p.177
リセット		—	—	—	p.178

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
Digital SR		—	—	—	p.120
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.121
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	オン	する	する	
リサイズ	記録サイズ	元画像による	—	—	p.133
	画質	元画像による	—	—	
トリミング		元画像による	—	—	p.135
画像/音声コピー		—	—	—	p.136
画像回転		正位置	—	—	p.42
デジタルフィルタ		白黒	しない	—	p.138
動画編集	静止画保存	—	—	—	p.144
	動画分割	—	—	—	
	動画結合	—	—	—	
フレーム合成		デフォルト1	する	する	p.142
赤目補正		—	—	—	p.141
ボイスメモ		—	—	—	p.159

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
プロテクト	1画像/音声	—	—	—	p.131
	全画像/音声	—	—	—	
DPOF設定	1画像	枚数：0枚	—	—	p.148
	全画像	日付：オフ	—	—	p.150
削除画像復活		—	—	—	p.130
起動画面設定		—	する	する	p.179

● **キーによる操作**

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン		動作モード	▶モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン		ズーム位置	広角端	※	しない	p.75
十字キー	▲	ドライブモード	□（標準）	※	する	p.73、p.74
	▼	撮影モード	P（プログラム）	する	する	p.53
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.86
	▶	フォーカスモード	**AF**（標準）	※	する	p.84
MENUボタン		メニュー表示	撮影モード：「📷メニュー」 再生モード：「🔧メニュー」	—	—	p.48
OK/DISPLAYボタン		情報表示	標準	※	する	p.82、p.119

撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
×：設定できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。

	AUTO PICT		P							
（オート）	○	○	○	×	×※3	×	○	○	○	○
（発光禁止）	○	○	○	○	○※3	×	○	○	○	○
（強制発光）	○	×	○	○	×※3	×	○	○	○	○
（オート＋赤目）	○	×	○	×	×※3	×	○	○	○	○
（強制＋赤目）	○	×	○	○	×※3	×	○	○	○	○
（ソフト）	○	×	○	○	×※3	×	○	○	○	○
（1コマ撮影）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
（セルフタイマー）	○	○※1	○	○	○	×	○	○	○	○
（2秒セルフタイマー）	○	○※1	○	○	○	×	○	○	○	○
（連続撮影）	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×
（高速連写）	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×
AF（標準）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
（マクロ）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
（無限遠）	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
PF（パンフォーカス）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
MF（マニュアルフォーカス）	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
記録サイズ	○	×	○	○	△※4	△	×※8	○	○	○
画質	○	×	○	○	△※4	△	×※9	○	○	○
ホワイトバランス	×※13	×	○	○	○	△※7	○	×	×※13	×※13
AFエリア	×※11	×	○	○	○※10	△	○※10	○	×※11	×※11
フォーカスリミット	○	×	○	○	○	△	○	○	○	○
測光方式	×※2	×※2	○	○	×※2	△	○	×※2	×※2	×※2
感度	○	×	○	○	×	△	○	○	○	○
露出補正	×	×	○	○	○※5	△	○	○	○	○
動画	△	×	△	△	○	△	×	△	△	△
デジタルズーム	○	×	○	○	○	△	○	○	○	○
クイックビュー	○	×	○	○	△	△	○	○	○	○
モードメモリ	○	×	○	○	○※6	○※6	○	○	○	○
シャープネス	×	×	○	○	○	△	○	×	×	×
彩度	×	×	○	○	○	△	○	×	×	×
コントラスト	×	×	○	○	○	△	○	×	×	×
日付写し込み	○	×	○	○	△	△	○	○	○	○

※1　グリーンモード以外の撮影モードで設定した方が使用可能
※2　（分割測光）に固定
※3　（発光禁止）に固定
※4　「動画」設定値に準ず
※5　撮影中は不可
※6　一部の関係ある内容は反映
※7　（マニュアル）は設定不可

注意:デジタルワイドモード時は、メニュー設定の変更はできません。

○	○	○	○	○	（オート）
○	○	○	○	○	（発光禁止）
○	○	○	○	○	（強制発光）
○	○	○	○	○	（オート＋赤目）
○	○	○	○	○	（強制＋赤目）
○	○	○	○	○	（ソフト）
○	○	○	○	○	（1コマ撮影）
○	○	○	○	○	（セルフタイマー）
○	○	○	○	○	（2秒セルフタイマー）
×	○	○	○	×	（連続撮影）
×	○	○	○	×	（高速連写）
○	○	○	○	○	**AF**（標準）
○	○	○	○	○	（マクロ）
○	○	○	○	○	（無限遠）
○	○	○	○	○	**PF**（パンフォーカス）
○	○	○	○	○	**MF**（マニュアルフォーカス）
○	○	○	○	×※14	記録サイズ
○	○	○	○	×※15	画質
×※13	×※13	○	×※13	×※13	ホワイトバランス
×※16	○	○	○	○	AFエリア
○	○	○	○	○	フォーカスリミット
×※2	×※2	○	×※2	○	測光方式
○	○	×※12	○	○	感度
○	○	○	○	○	露出補正
△	△	△	△	×	動画
○	○	○	○	ー	デジタルズーム
○	○	○	○	○	クイックビュー
○	○	○	○	○	モードメモリ
×	×	○	×	○	シャープネス
×	×	○	×	○	彩度
×	×	○	×	○	コントラスト
○	○	○	○	○	日付写し込み

※8 3M（2048×1536）に固定
※9 ★★に固定
※10 （自動追尾）は不可
※11 [ ]（マルチ）に固定
※12 AUTO（64-3200）に固定
※13 **AWB**（オートホワイトバランス）に固定
※14 合成後は5Mに固定（ただし、1枚目のみでは3M固定）
※15 合成後は★に固定（ただし、1枚目のみではメニュー設定になります）
※16 （自動追尾）に固定

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。
（※）の製品は同梱品と同じものです。

- **電源関連**

  充電式リチウムイオンバッテリー D-LI72（※）

  バッテリー充電器キット K-BC72J（※）
  （バッテリー充電器 D-BC72、ACコードのセット）

  ACアダプターキット K-AC63J
  （ACアダプター D-AC63、ACコードのセット）

  バッテリー充電器、およびACアダプターは、セットでのみ販売しております。

- **ケーブル類**

  USBケーブル I-USB7（※）

  AVケーブル I-AVC7（※）

- **ストラップ**

  O-ST20（※）

  O-ST24　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

  O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

  O-ST30　防水加工を施したストラップです。

- **カメラケース**

  O-CC72

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
電池容量がなくなりました	バッテリーの残量がありません。バッテリーを充電器で充電してください。（p.22）
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.26、p.125） 撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.133）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.161）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.28）
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影または保存してください。
画像/音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダが作成できません	最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.161）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
レンズカバーを開けてください	レンズカバーが閉じたまま起動している状態で、シャッターボタン半押し／全押しまたは再生ボタンを押して📷モードに移行した場合に表示されます。

記録中です	画像がまだ記録中なのに、▶モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます
内蔵メモリーの空き容量がありません	ファイル保存するとき、内蔵メモリーの空き容量がない場合に表示されます。
処理できる画像がありません	画像／音声ファイルが1つもない場合に表示されます。
この画像／声を処理できません	実行対象外ファイルの場合に表示されます。
カードが入っていません	SDカードが挿入されていない場合に表示されます。
内蔵メモリーの空き容量が足りません画像/音声をコピーできません	コピーに必要な空き容量が内蔵メモリーに残っていない場合に表示されます。
正しく処理できませんでした	赤目補正処理に失敗した場合に表示されます。
内蔵メモリーに記録された画像／音声を表示します	内蔵メモリー参照メモリーに移行した場合に表示されます。
この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください	グリーンモードで対応していない機能を使おうとすると表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
用紙が少なくなりました	接続したプリンターの用紙残量が少ない場合に表示されます。
用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。
インクが少なくなりました	接続したプリンターのインク残量が少ない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。

接続エラーです プリンターを確認してください	PictBridge接続に失敗した場合に表示されます。
印刷中です	印刷実行中に表示されます。
印刷を終了しました 続けて印刷しますか？	印刷終了時に表示されます。
印刷を中止しました	印刷中止時に表示されます。
処理できる画像がありません	印刷対象となる画像がない場合に表示されます。
DPOF設定が正しくありません	DPOF指定印刷ができない場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。⊕⊖表示にしたがってバッテリーを入れなおしてください。（p.23）
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
液晶モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	液晶モニターがオフにセットされている	**OK**/**DISPLAY** ボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。（p.82）
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。液晶モニターを明るく設定してください。（p.174）
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSD メモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.26、125）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。（p.40）あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。（p.85）
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください。（p.84）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が⊘（発光禁止）になっている	オートまたは⚡（強制発光）に設定してください。（p.86）
	ドライブモードが▣、▣ フォーカスモードが▲ 撮影モードが 🎥 になっている	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	PictBridgeモードになっている	カメラのUSB接続モード「PC」に切り替えてください。（p.172）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	転送モードが「PC」になっている	転送モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.151）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、バッテリーを入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	800万画素
撮像素子	総画素数829万画素、 原色フィルター／インターライントランスファー 1/2.5型CCD
記録画素数	静止画　8M（3264×2448）、5M（2592×1944） 4M（2304×1728）、3M（2048×1536） 2M（1600×1200）　1024（1024×768） 640（640×480）（ピクセル）
	動画　640（640×480）、320（320×240）ピクセル
ISO感度	オート（64～800）、マニュアル（ISO 64／100／200／400／800／1600／3200） ※メニューにてオート感度の範囲を変更可能 ※Digital SR（ぶれ軽減）モード時はオート（64～3200）に固定
記録方式	静止画　JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画　AVI（MotionJPEG準拠）、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、PCM方式・モノラル音声付、フルカラー・セピア・白黒切替可、Movie SR（動画手ぶれ補正）
	音声　ボイスメモ、ボイスレコード：WAVE（PCM）方式、モノラル
画質	静止画　★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
	動画　★★★（S.ファイン）、★（ファイン）、★（エコノミー）
記録媒体	内蔵メモリー（約52.1MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード

撮影枚数と時間
静止画

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB	内蔵メモリー	256MB
8M 3264×2448	13枚	62枚	26枚	121枚	40枚	186枚
5M 2592×1944	21枚	97枚	40枚	186枚	58枚	267枚
4M 2304×1728	26枚	121枚	52枚	242枚	75枚	346枚
3M 2048×1536	33枚	151枚	65枚	299枚	95枚	435枚
2M 1600×1200	52枚	242枚	87枚	401枚	128枚	586枚
1024 1024× 768	104枚	476枚	175枚	802枚	222枚	1016枚
640 640× 480	208枚	953枚	303枚	1386枚	416枚	1906枚

• 撮影枚数は目安です。SD メモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画・音声

		30fps		15fps		音声	
		内蔵 メモリー	256MB	内蔵 メモリー	256MB	内蔵 メモリー	256MB
640 640×480	★★★	49秒	3分47秒	1分38秒	7分28秒	41分17秒	3時間 8分53秒
	★★	1分6秒	5分5秒	2分13秒	10分10秒		
	★	1分41秒	7分42秒	3分16秒	14分57秒		
320 320×240	★★★	1分19秒	6分3秒	2分31秒	11分33秒		
	★★	1分47秒	8分12秒	3分28秒	15分53秒		
	★	2分31秒	11分33秒	5分3秒	23分6秒		

撮影時間・録音時間は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影時間・録音時間は異なることがあります。

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	6.3mm～44.1mm （35mmフィルム換算：38mm～266mm相当）
	F値	F3.5～F5.4
	レンズ構成	9群12枚（両面非球面レンズ2枚、片面非球面レンズ2枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約44.2mm × 33.5mmを画面いっぱいに撮影可能（マクロモード:テレ端撮影距離30cmのとき）
インテリジェントズーム	5M（2592 × 1944）時 約8.8倍、4M（2304 × 1728）時 約9.9倍、3M（2048 × 1536）時 約11.2倍、2M（1600 × 1200）時 約14.3倍、1024（1024 × 768）時 約22.3倍、640（640 × 480）時 約35.7倍 （光学7倍ズームと合わせたズーム倍率）	
デジタルズーム	撮影時	最大約5.1倍（光学7倍ズームと合わせ、最大約35.7倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.5型TFTカラーLCD（バックライト付）、明るさ調整付、約23万画素	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、カレンダー表示、回転表示、音声再生、スライドショウ、動画再生・編集（静止画保存、分割、結合）、ヒストグラム表示、白とび・黒つぶれ表示、画像/音声コピー、デジタルフィルタ、ボイスメモ、トリミング、リサイズ、フレーム合成、赤目補正、削除画像復活、プロテクト、DPOF、起動画面設定、選択消去	
フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカス	

フォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 9点AF（マルチ／スポット／自動追尾切替可）
	フォーカス範囲	ノーマル ：約0.4m～∞（広角時） 約0.5m～∞（望遠時） マクロ ：約0.08m～約0.5m（広角時） 約0.3m～約0.6m（望遠時） ※ 遠景、パンフォーカス、マニュアルフォーカス切替可 ※「ポートレート」「美肌」「キッズ」選択時のみ、顔認識AF可
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	オートピクチャー、グリーン、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、ポートレート、Digital SR（ぶれ軽減）、サーフ&スノー、スポーツ、ペット、フレーム合成、キッズ、料理、美肌、「ポートレート」「美肌」「キッズ」選択時のみ、顔認識AE可	
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、ソフト、色抽出（赤、緑、青）、フィッシュアイ、明るさ	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで（ただし最大で2GBまでの制限あり）
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/1440秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減、ソフト発光（夜景モード時のみ低速シンクロ可能）
	撮影範囲	広角時 約0.16m～約5.4m （ISOオート（64-800）の条件において） 望遠時 約0.3m～約4.0m （ISOオート（64-800）の条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影、高速連写	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
	スタイルウォッチ	電源オフ時に **OK/DISPLAY** ボタン長押しで時刻表示（約10秒間）
	アラーム	指定時間にアラームと同時にスタイルウォッチを表示
電源	専用リチウムイオンバッテリーD-LI72、ACアダプターキット（別売）	

バッテリー寿命	撮影可能枚数 約180枚	※ 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
	再生時間 約150分	※ 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	動画撮影時間 約65分	
	音声録音時間 約190分	
最大充電時間	約90分	
入出力ポート	USB 2.0（ハイスピード対応）／AV端子、DC入力端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音）	
PictBridge	対応プリンター	PictBridge対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
	用紙サイズ指定	カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定
	用紙タイプ指定	★★★、★★、★、プリンター設定
	印刷品質設定	★★★、★★、★、プリンター設定
	ふち指定	あり、なし、プリンター設定
大きさ	94（幅）× 58（高）× 25.5（厚）mm（操作部材、突起部を除く。最薄部22mm）	
質量	125g（バッテリー、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	145g（バッテリー、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	専用バッテリー、バッテリー充電器、ACコード、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、簡単ガイド、PC接続ガイド、保証書	

索引

記号

数字

A

D

M

N

O

P

S

U

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付

0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付

FAX：03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター　03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター　06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター

ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS および IP 電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。　☎**03-3960-3200**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
57931

01-200707
Printed in Indonesia